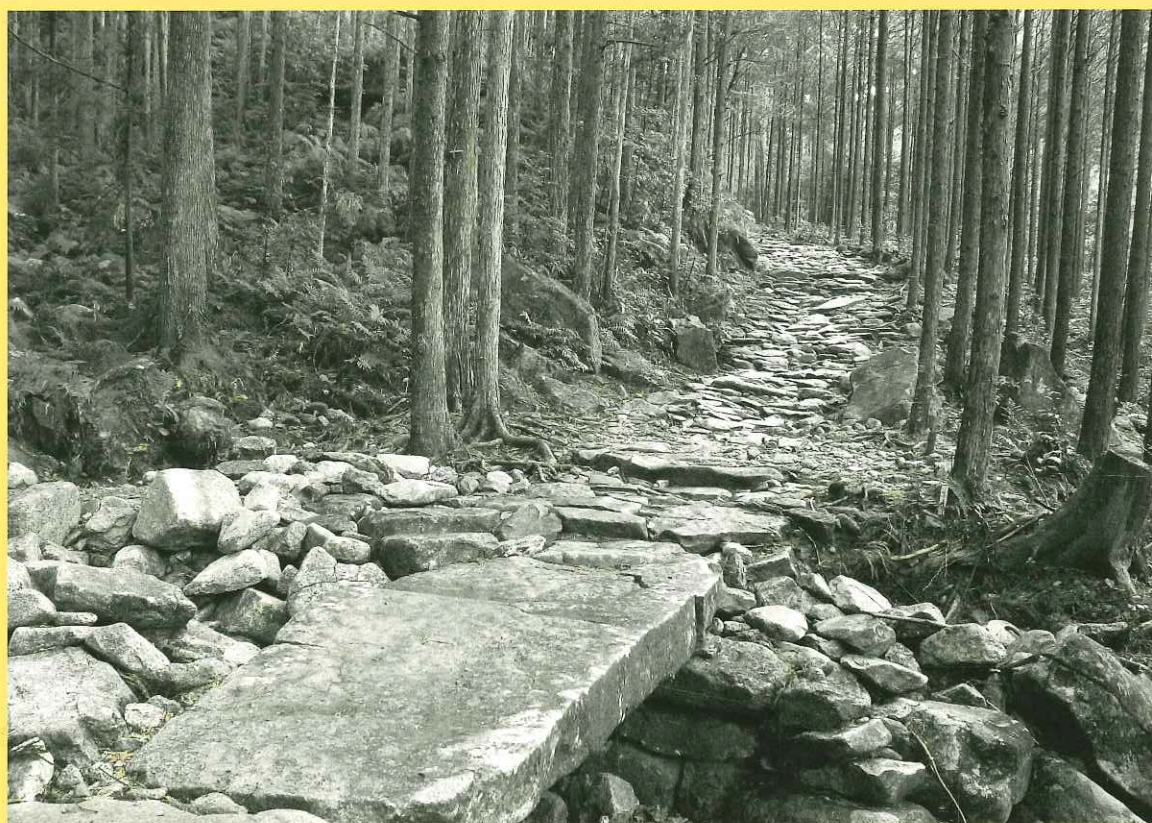


# 三重県の文化財保護

—平成16年度—



2006.3

三重県教育委員会

# 例 言

- 1 本書は、三重県教育委員会事務局 生涯学習分野 文化財保護室が、平成16年度の実施した文化財保護事業をまとめたものである。
- 2 国史跡齋宮跡及び埋蔵文化財の発掘調査の詳細については、齋宮歴史博物館及び三重県埋蔵文化財センターが、別途年報として報告しているのので、参照されたい。
- 3 市町村指定文化財の指定・解除及び文化財保護強調週間行事などは、市町村教育委員会からの報告をもとに記載した。
- 4 なお、本書では、市町村名・組織名について、平成17年3月末日段階の名称等を使用している。

## 目 次

<b>I 文化財の指定・登録</b>	<b>2 県費補助事業（県単独事業分）</b>
1 国重要文化財の指定 …………… 1	(1) 建造物保存修理事業 ……………29
2 国登録有形文化財の登録 …………… 1	(2) 有形文化財保存修理事業 ……………29
3 三重県文化財保護審議会 …………… 2	(3) 有形文化財保存施設整備事業 ……………29
4 三重県指定文化財の指定等 …………… 3	(4) 史跡等保存整備事業 ……………29
5 三重県指定文化財の一部解除 ……………15	(5) 土地買い上げ事業 ……………29
6 市町村指定文化財の指定 ……………15	(6) 齋宮跡体験学習施設維持管理 ……………30
7 市町村指定文化財の指定解除 ……………16	(7) 民俗文化財伝承・活用事業 ……………30
<b>II 文化財の調査事業</b>	(8) 有形民俗文化財保存修理事業 ……………30
1 特別天然記念物カモシカ調査	(9) 天然記念物保護増殖事業 ……………30
(1) 特別天然記念物カモシカ通常調査 ……………17	<b>3 県費補助事業（国間接補助事業分）</b> ……………30
(2) 特別天然記念物カモシカ保護指導委員 並びに保護行政担当者会議 ……………17	4 天然記念物ネコギギ保護管理指針策定事業 ……………30
2 近代和風建築総合調査 ……………17	5 熊野古道世界遺産登録推進事業
3 松浦武四郎関係資料史料調査 ……………18	(1) 事業概要 ……………31
4 伊勢神宮領農村文書史料調査 ……………18	(2) 「紀伊山地の霊場と参詣道」の世界遺産登録 ……31
5 市内遺跡詳細分布調査等 ……………19	(3) 登録推進及び登録後の事業内容 ……………31
6 埋蔵文化財緊急発掘調査	6 ふるさと文化再興事業 ……………33
(1) 国史跡齋宮跡緊急発掘調査 ……………19	7 民間による助成 ……………33
(2) 経営体育成基盤整備事業等発掘調査 ……………20	<b>IV 文化財の管理・普及</b>
(3) 市町村遺跡発掘調査 ……………20	1 登録審査
7 民俗文化財の調査 ……………23	(1) 銃砲刀剣類登録審査会 ……………34
<b>III 文化財の保護事業</b>	(2) 三重県天然記念物紀州犬登録審査会 ……………34
1 県費補助事業（国補助事業分）	(3) 三重県天然記念物日本鶏登録審査会 ……………35
(1) 建造物保存修理事業 ……………24	2 文化財の管理
(2) 伝統的建造物群保存事業 ……………24	(1) 文化財パトロール ……………35
(3) 美術工芸品保存修理事業 ……………24	(2) 文化財保護にかかる会議 ……………38
(4) 建造物防災施設事業 ……………24	(3) 発掘調査届・通知等 ……………39
(5) 美術工芸品防災施設事業 ……………25	(4) 埋蔵物の文化財認定 ……………40
(6) 美術工芸品保存活用事業 ……………25	(5) 出土文化財の譲与 ……………46
(7) 重要無形文化財保持団体補助事業 ……………25	3 国・県指定文化財の現状変更等
(8) 民俗文化財伝承・活用事業 ……………25	(1) 国指定文化財現状変更等 ……………47
(9) 史跡等保存整備事業 ……………25	(2) 県指定文化財現状変更等 ……………51
(10) 歴史の道整備活用推進事業 ……………27	4 文化財の公開・普及
(11) 史跡等買上げ事業 ……………27	(1) 文化財関係の受賞 ……………54
(12) 埋蔵文化財出土遺物保存処理事業 ……………27	(2) 文化財講習会 ……………54
(13) 紹介・周知整備整理事業埋蔵 文化財保存活用整備事業 ……………28	(3) 第46回近畿・東海・北陸ブロック 民俗芸能大会 ……………54
(14) 天然記念物食害対策事業 ……………28	(4) 紀伊半島民俗芸能祭 ……………55
(15) 天然記念物再生事業 ……………28	(5) 文化財保護強調週間行事 ……………55
	(6) 文化財防火デー関連行事実施状況 ……………56

[ 表 紙 史跡熊野参詣道(伊勢路)馬越峠道 ]  
[ 裏表紙 三重県内 国・県指定等文化財数 ]

# I 文化財の指定・登録

## 1 国重要文化財の指定

- ・種 別 重要文化財（建造物）
- 名 称 旧松坂御城番長屋 東棟・西棟
- 員 数 2棟
- 所 在 地 松阪市殿町1384
- 構造・形式 (東棟) 木造平屋建、桁行90.9m、梁間9.4m、一重、切妻造、棧瓦葺、東面角屋12所附属  
(西棟) 木造平屋建、桁行83.6m、梁間9.4m、一重、南面切妻造、北面入母屋造、棧瓦葺、西面角屋10所附属  
(宅地) 7009.13㎡ (1381・1382・1383－1・1384・1385番地の生垣、石垣、石柱を含む)
- 年 代 江戸末期
- 所 有 者 合資会社 苗秀社
- 指定基準 流派的又は地方的特色において顕著なもの
- 指定年月日 平成16年12月10日 (文部科学省告示第168号)
- 指定番号 建第2456号
- 特徴・評価 旧松坂御城番長屋の武士団は、初代紀州藩主徳川頼宣以来直属の家臣として紀州田辺に配置されたが、同藩筆頭家老の田辺城主安藤氏と対立して安政3年(1856)に挙脱藩、浪人の後、文久3年(1863)に再度藩士として召抱えられ、新設された松坂御城番の職に就いた。
- 旧松坂御城番長屋は、この松坂御城番20家の松坂来住に当たり、松坂城内の三之丸に新築された2棟の屋敷である。現在、子孫で構成する合資会社苗秀社の所有となっている。
- 市道を挟んで並び立つ東西2棟の主屋は、平屋建、棧瓦葺で、各戸は間口5間、奥行5間を標準として、これを桁行方向に東棟10戸(桁行90.9m)、西棟9戸分(桁行83.6m、明治後期に1戸分撤去、本来は10戸)を連ね、背面には各戸の便所や炊事場にあてる角屋が張り出す。各戸の平面は、向って右手を1間幅の土間とし、左手は田の字型に8畳・6畳各2室の4室構成で、その前後に縁を設けている。前庭側の2室は表向きの性格が強く表6畳前面は縁に代えて式台を構え、上手の表8畳には床を設け接客用の座敷としている。市道に面する表側は、槇垣で囲って各戸ごとの前庭を設け、裏側は各戸の角屋端の位置を板塀などで囲って裏庭とし、更にその背後には敷地端を区画する槇垣までの間に畑地が配置される。
- 旧松坂御城番長屋は、武士の住居としての質も高く、全体規模、各戸規模ともに大きく、小路を挟んで2棟からなる構成も他に例がない。年代や由緒が明確であり、建設当初の武士団の子孫によって、今も敷地全体が良好に維持されている。その良好な景観からは、かつての武士たちの生活の様相をよく窺い知ることができ、貴重な建築である。

## 2 国登録有形文化財の登録

- ・名 称 海山町郷土資料館 (向栄館)
- 員 数 1棟
- 所 在 地 北牟婁郡海山町大字中里96
- 構造・形式 木造平屋建・瓦葺・建築面積330㎡
- 年 代 明治43年(1910)
- 所 有 者 海山町
- 登録基準 登録基準 (二) 造形の規範となっているもの

登録日 平成16年7月23日（平成16年8月17日付文部科学省告示第131号）

登録番号 24-0050

特徴・評価 この建物は地元林業家である松永家が明治43年（大正元年（1912））に本邸脇に建設した洋風別館で、向栄館と名付けられた。戦後、旧船津村に寄付され、以降村役場、公民館として利用され、現在は町立の郷土資料館として活用されている。

木造平屋建、椼瓦葺で、平面形は正面中央に玄関ポーチを設け、左右両端を前方に突出させて全体に左右対称の構成となっている。外観は外壁のほぼ全体を下見板張とし、正面と側面には縦長の上げ下げ窓を配置している。屋根は全体を寄棟造、前方に突出した左右両端を入母屋造、玄関ポーチを寄棟造とし、軒の持ち送りや玄関軒廻りの飾りが、堅実なこの建物に装飾性を与えている。建築当時は日清・日露戦争後の木材需要が急増し活況を呈した時期であり、建物全体が紀州材のショールームとしての性格をもつもので、上質の檜材が多用され、施工も入念行われている。

林業の近代化を背景として建築され、地方への洋風建築の浸透を示す貴重な事例である。

### 3 三重県文化財保護審議会

・三重県文化財保護審議会委員

氏名	担当分野	現職
鈴木 嘉吉	建造物	元奈良国立文化財研究所長
菅原 洋一	建造物	三重大学助教授
狩野 博幸	絵画・工芸	京都国立博物館 文化資料課長
河田 貞	絵画・工芸	佐川美術館常務理事館長代行・前帝塚山大学教授
水野 敬三郎	彫刻	東京芸術大学名誉教授
熊田 由美子	彫刻	愛知県立芸術大学講師 (東京芸術大学奈良古美術研究室研究員)
赤川 一博	彫刻	四日市市立博物館主幹(学芸員)
稲本 紀昭	文書	京都女子大学教授
高倉 一紀	文書	皇学館大学教授
岡田 照子	民俗	岐阜女子大学名誉教授
植木 行宣	民俗	前京都学園大学教授
八賀 晋	史跡・考古	三重大学名誉教授
本田 裕	地質鉱物	三重大学助教授
伊藤 進一郎	植物	三重大学教授
名越 誠	動物	奈良女子大学名誉教授

#### 第1回審議会

期 日 平成16年9月28日  
場 所 三重県庁講堂棟 131・132会議室（津市広明町13）  
内 容 諮問 三重県指定文化財の指定等に関する諮問  
審議 平成16年度 三重県指定候補文化財の選考及び調査について  
平成15年度 三重県指定候補文化財の調査報告について  
答申 三重県指定文化財の指定等に関する答申  
報告 平成16年度 文化財保護事業について  
国指定文化財の指定等について  
国・県指定文化財の現状変更等について  
「紀伊山地の霊場と参詣道」の世界遺産登録について

#### 第2回審議会

期 日 平成17年2月22日  
場 所 三重県勤労者福祉会館 地階 特別会議室（津市栄町1丁目891）  
内 容 審議 平成16年度三重県指定候補文化財の調査報告について  
平成16年度三重県指定文化財の指定等について  
答申 三重県指定文化財の指定等に関する答申  
報告 国指定等文化財の指定等について  
国・県指定文化財の現状変更等について  
県主体の文化財調査・保護事業について

### 4 三重県指定文化財の指定等

種 別 有形文化財（彫刻）

名 称 木造阿弥陀如来立像 附 像内納入文書 1巻19枚

員 数 1 軀

時 代 鎌倉時代

所 在 地 四日市市富田一色町25-19

所 有 者 龍泉寺

告 示 三重県教育委員会告示第18号

指 定 日 平成16年10月18日

指 定 番 号 彫 110

概 要 龍泉寺の本尊として、須弥壇上の厨子に安置される阿弥陀如来立像である。

像高36.9cm。檜材の割矧ぎ造で、漆箔仕上げ、玉眼。肉髻珠、白毫相（いずれも水晶）をあらわし、髪際は下向きに湾曲する。内衣・覆肩衣・袈裟を着け、左手は緩やかに垂下して第1、2指を捻じ、右手は屈臂し掌を前にして第1、2指を捻じる来迎印を結ぶ。足首を露出して、やや右足を浮かせて蓮華座上に立つ。

鋭いまなざしや顎を強く引く面部の側面観によって知的な印象を与える表現、人体に即した抑揚など、鎌倉時代前期の特色がよく現れる。また、煩雑な激しいうねりをもつ衣文をもち、13世紀第2四半期ころの宋風受容の一傾向を示す作例として評価される。

一方、本像胎内には経巻1巻と19紙の摺仏が納められていた。経巻には『摩訶般若波羅密多心経』『仏説阿弥陀経』のあとに『無量寿如来根本陀羅尼』などの種々の真言陀羅尼を記し、次いで阿弥陀如来印仏を百行にわたって一体づつ押し、経文中の空白部、真言及び印仏の下に結縁名を記す。摺仏19紙（内1枚は折紙）には阿弥陀如来印仏が7～8段にわたって押しされる。紀年銘などはないが、比丘

順蓮を機縁としたネットワークの中で制作されたことが知られ、中世初頭の造像形態の一端を示す好例である。

- ・種 別 無形民俗文化財
- 名 称 国崎熨斗鮓づくり
- 所 在 地 鳥羽市国崎町417
- 保 持 団 体 国崎熨斗鮓づくり文化保存会
- 告 示 三重県教育委員会告示第19号
- 指 定 日 平成16年10月18日
- 指 定 番 号 無民 38

概 要 国崎熨斗鮓づくりの成立は古く、伝承では、倭姫命が国崎の湯貴の潜女が奉った鮓が美味であったため国崎を御贄所にしたという。延暦の『皇太神宮儀式帳』には「志摩国神戸百姓供進鮮鮓螺等御贄」とあり、天永二（1111）年の文書（『県指定紙本墨書国崎文書』）には由貴大御饗御料として熨斗鮓の数量を明記している。現在は神宮（内宮・外宮）の三節祭（6月・12月の月次祭、10月の神嘗祭）のために、大身取鮓（330連）・小身取鮓（705連）・玉貫鮓（330連）、甘搔鮓、干栄螺を調進している。

熨斗鮓づくりの作業工程は、①生むき。貝をノミで身ははずし、もみ洗いしてねばりを取り、身の周辺の固い部分を除き、熨斗鎌とか熨斗刀という小刀で、貝を動かさずに小刀の方をかげんしながら外側から渦巻き状に剥ぐ。②天日乾燥。晴天の時に干し場の竿に掛ける。その後、干した鮓を湯に浸し琥珀色半透明の生かわき状態にして、竹筒（コロタケ）をころがして伸し規定の寸法に裁断する。③繋ぎ作業。身取鮓の大きは片連十枚、双連で二十枚。小は片連三枚と二枚、合わせて五枚を藁芯の縄で綴って一連とする。玉貫鮓は、小片を藁芯で編んだ縄に片連十二枚、双連二十四枚を横にはさんで一連とする。甘搔鮓は、貝をはずした姿を茹でて乾燥させた乾鮓のことで一般的には丸鮓とか明鮓という。すべてが伝統的技法を勘と経験による長老たちによって鎧崎にある「神宮御料鮓調製所」で齋戒して調製する。

調製加工は厳しい管理を要し、全ては勘が頼りの作業であり、連続と続く国崎の熨斗鮓加工調製は高度の技術をよく伝承している。一連の熨斗鮓づくり及び関連技術は他に類例がなく三重県指定無形民俗文化財に十分価するものである。

- ・種 別 有形文化財（建造物）
- 名 称 八幡神社本殿 附 棟札 7枚 延宝五年、享保九年、明和九年、寛政六年、文化十一年、天保二年、天保六年の記があるもの各1枚木造諸尊仏龕
- 員 数 1棟
- 時 代 江戸時代前期（慶安4年（1651））
- 所 在 地 一志郡美杉村奥津1238
- 所 有 者 八幡神社
- 告 示 三重県教育委員会告示第37号
- 指 定 日 平成17年3月17日



指定番号 建 43

概要 八幡神社の社地は旧伊勢本街道（初瀬本街道）に面して鳥居が立ち、この北方の山麓に参道を隔てて拝殿、覆屋に覆われた本殿が位置する。

社伝によれば、伊勢国司北畠頭能が文和2年（1353）に男山八幡宮の分霊を勧請して北畠氏累代の祈願所とされ、同氏滅亡後は奥津村・石名原村の産土神として維持されてきたが、慶安2年（1649）に焼失し同4年（1651）に再建されたという。また、本殿の棟札から、江戸時代に数次の改修、葺替を受けていることが知られる。

本殿は木造、三間社流造、檜皮葺で内部は3区に分かれる。新旧の年代の部材が混用されており、向拝の虹梁型頭貫木鼻、手挟、臺股、組物、身舎の組物、木鼻は古風で、室町時代末期の形式を示しており、彩色も殆ど剥落している。一方、柱、長押、縁高欄、脇障子、垂木、桁、大瓶束、懸魚、破風、扉、浜床、浜縁、木階などは、風喰に乏しい新材で彩色も新しい。

主要構造材はいずれも新材となっていることから、この本殿の建立（再建）時期は慶安の頃と考えられ、その際、残存していた前身建物の細部を向拝や身舎上部に再利用し、また、更に一部の部材は当初形式に倣って古風に補作したものと見られる。前身本殿の細部部材は室町時代末期頃と考えられ、意匠、加工は優秀であり、保存状態もよい。

このように、本殿は基本的に江戸時代に属するものであるが、主要な細部意匠は室町時代末期に遡るものであり、この地域における数少ない古風な意匠を示すものとして貴重である。

・種別 有形文化財（絵画）  
名称 絹本着色釈迦三尊十六善神像  
員数 1幅  
時代 鎌倉時代中期（13世紀）  
所在地 四日市市日永2丁目11-7  
所有者 大聖院  
告示 三重県教育委員会告示第37号  
指定日 平成17年3月17日  
指定番号 絵 31

概要 大般若経転読に際し本尊として懸用される掛幅（縦111.7cm、横55.7cm）で、獅子宝座上に座す釈迦如来を中心に、普賢・文殊菩薩を脇侍として、周囲を十六善神と玄奘三蔵、深沙大将等の眷属が取り囲む構図となっている。

釈迦像は丹の具で裏彩色を施した上で、表から金箔を押すなど、丁寧な仕事ぶりが目につく。おそらく中央の絵仏師の手になるものと思われる。

制作期は、裏彩色などその仕事ぶり、着衣の盛り上げ文様の手際などから、いずれも鎌倉時代中期（13世紀）であることがわかる。表面の劣化がやや目立つものの、仏教絵画も含め四日市市に現存する絵画として最古の作品であり、鎌倉時代の本格的な仏教画の作風を伝えるものとして貴重である。

・種別 有形文化財（絵画）  
名称 紙本着色藤堂虎高像  
員数 1幅  
時代 江戸時代初期（1621年以前）  
所在地 伊賀市上野寺町1165  
所有者 上行寺

告 示 三重県教育委員会告示第37号

指 定 日 平成17年3月17日

指 定 番 号 絵 32

概 要 伊賀上野の藤堂藩の菩提寺上行寺に所蔵される藤堂高虎の父、虎高（1516～99）の画像（縦76.7cm、横35.4cmの掛幅）である。東帯で上畳に座す典型的な武将肖像画であり、人間の表情の描線から明らかに狩野派の制作と言える。

画面上部にある日蓮僧日鏡の賛で、虎高の没日慶長4年（1599）10月18日を記すほか、賛自体は元和7年（1621）に記されており、本像制作時期の下限がわかる。この日鏡の花押のやや下に削り取られた部分があり、ここに画家の印章があったとすれば、大阪夏の陣以後、豊臣方であったとして追捕されたことのある狩野山楽の印であった可能性が高い。その推定が正しければ、本像の制作は慶長20年（1615）以前まで遡る可能性がある。

歴史的にも美術史的にも貴重な作品である。

日鏡 江戸時代前期の日蓮宗の高僧。幼少に出家し、法輪寺で天台学を修めた後、42歳で京都の妙顕寺第13世となり、仏殿・方丈などの修築に尽力された。

・種 別 有形文化財（絵画）  
名 称 三十六歌仙扁額  
員 数 12面（36図）  
時 代 桃山時代末期  
所 在 地 伊賀市一之宮877  
所 有 者 敢国神社  
告 示 三重県教育委員会告示第37号  
指 定 日 平成17年3月17日  
指 定 番 号 絵 33  
概 要

三十六歌仙の歌仙画を、3枚を1組として、計12面の扁額に納めたものである。藤堂藩主高虎・高次・高久の事績を集成した『公室年譜略』慶長14年（1609）条に見える「三十六歌仙ノ額 各三十六枚俱ニ近衛信基公筆画ハ山徳筆ヲ神献玉フ」の記事がこれを指すものと思われる。

本来は36面であったものが、現在のように3図ずつ12面になったのは、寛永13年（1636）に護摩堂が建立されたのに合わせたものと考えられる（『宗国史』の「本譜大通公」及び「祀典録」による）。法量は、歌仙画（3図1組）が縦54.2～54.8cm、横100.2～100.8cm、各色紙が縦19.5～21.0cm、横16.0～18.2cmで、扁額としては縦61.8～62.5cm、横107.5～108.5cm、厚み3.5～3.8cmを計る。

図はそれぞれ金地著色画で、同時期の三十六歌仙図の特徴をよく反映している。『公室年譜略』が「山徳」とする作者については、これを同時期に活躍した狩野派の画家「山楽」の書き誤りと見る事もできるが、残念ながら画風にその意匠は確認できない。但し、和歌の色紙が近衛信基（信尹の初名）の筆によるものという点は認めてよいようである。

絵に比べて色紙の傷みが進んでいるようであるが、制作時期の確実性ととも、36図が欠損することなく伝存している点が大いに評価できる。

〔三十六歌仙〕 鎌倉時代中期に大納言藤原公任が編纂した「三十六人撰」に収められている歌人（万葉歌人3名、平安歌人33名）について、後世このように呼ぶようになった。柿本人麻呂、山部赤人、大伴家持、紀貫之、在原業平、小野小町、斎宮女御など。



・種 別 有形文化財（絵画）  
名 称 紙本金地著色伊勢物語図六曲屏風  
員 数 1 双  
時 代 江戸時代前期  
所 在 地 多気郡明和町竹川503  
所 有 者 三重県（斎宮歴史博物館）  
告 示 三重県教育委員会告示第37号  
指 定 日 平成17年3月17日  
指 定 番 号 絵 34

概 要 六曲一双からなる屏風（各隻とも縦146.0cm、横366.0cm）で、金雲を屏風全体に張りめぐらせ、その間に『伊勢物語』の主要な章段を細かく描く。

『伊勢物語』の段の1つないし2つを、屏風に大きく描くことはあるが、この作品のように数多くの場面を描き出すようになるのは、江戸時代に入ってからが断然多い。

画風は、土佐派とも狩野派とも異なる在野の画家の筆によるもので、制作時期は17世紀後半頃と考えられる。

源氏物語図屏風と同様に数多く制作されたはずの伊勢物語図屏風であるが、残存例は少なく、保存状態の良好さも併せ貴重な作品である。

[伊勢物語] 9世紀から10世紀にかけて作られた歌物語。自由奔放な人生を送ったと伝えられる歌人在原業平（825～880）をモデルとし、様々な女性との恋愛を中心に、交友や遊興などが、和歌を含んだ125段の物語で綴られている。作者は不明。

・種 別 有形文化財（絵画）  
名 称 紙本著色源氏物語色紙貼交二曲屏風  
員 数 1 双  
時 代 桃山時代末・江戸時代初期  
所 在 地 多気郡明和町竹川503  
所 有 者 三重県（斎宮歴史博物館）  
告 示 三重県教育委員会告示第37号  
指 定 日 平成17年3月17日  
指 定 番 号 絵 35

概 要 『源氏物語』五十四帖のうち、「桐壺」から「東屋」までの各帖から一場面を選び、それぞれに貴紳の詞書が伴う色紙を、各隻に18対、合わせて36対を貼り交ぜた二曲屏風一双である。

法量は、右隻・左隻とも縦172.8cm、横175.0cmで、各色紙は縦横ともに約20cmである。

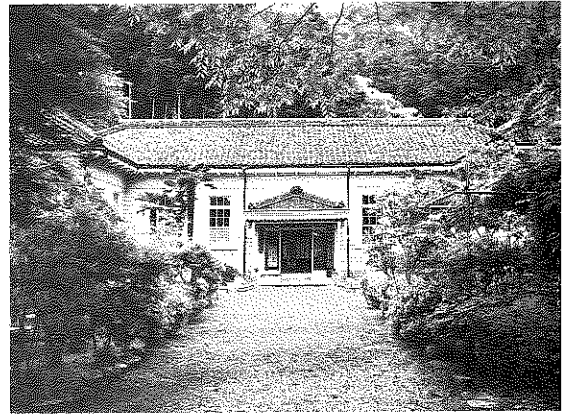
詞書の書者は後陽成天皇、八条宮智仁親王らを初めとする豪華な陣容であり、注文者の高貴さが偲ばれる。絵は土佐派の正系に属する画人の筆によるものであることは確かで、土佐光吉あたりを想定したいところだが、やや異質な点も見え疑問が残る。

但し、金・銀の装飾も華やかさと雅びさの限りを尽くし、桃山時代末期の宮廷文化の豊饒さを示すその内容は、見事というほかない。

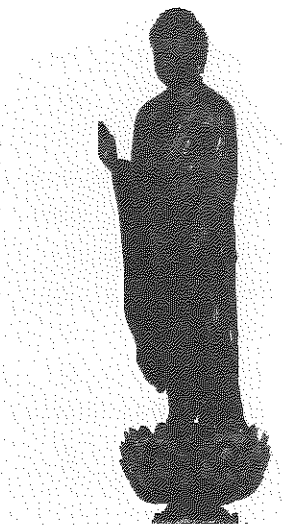
・種 別 有形文化財（彫刻）  
名 称 木造地藏菩薩立像



旧松坂御城番長屋 (松阪市)



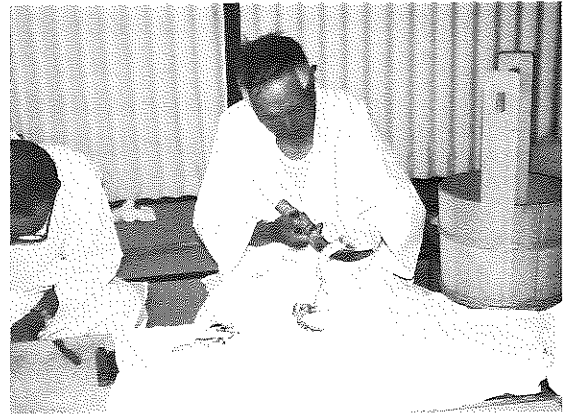
海山町郷土資料館(向宋館) (海山町)



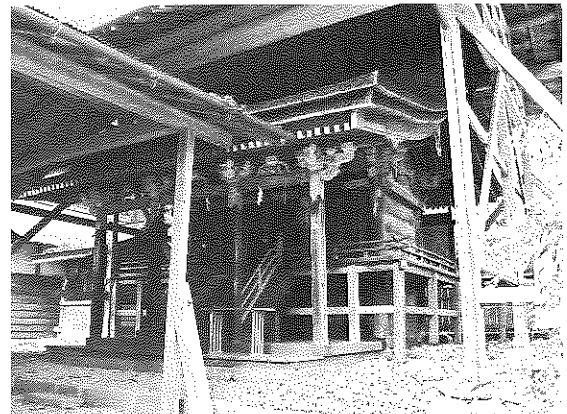
木造阿弥陀如来立像  
(四日市市 竜泉寺)



絹本著色釈迦三尊十六善神像  
(四日市市 大聖院)



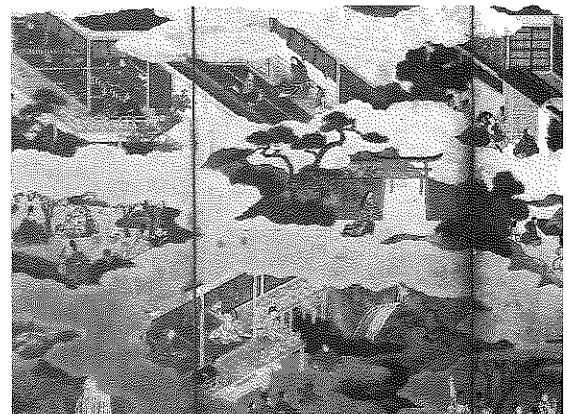
国崎熨斗鯉づくり(鳥羽市)



八幡神社本殿(美杉村)



三十六歌仙偏額(小野小町・紀友則・僧正遍照)  
(伊賀市 敢国神社)



紙本金地著色伊勢物語図六曲屏風(左隻部分)  
(第69段 狩の使・第71段 神の斎垣 ほか)



紙本著色源氏物語色紙貼交二曲屏風  
(右隻：卷葵)



木造獅子・狛犬 (獅子)  
(伊賀市 春日神社)



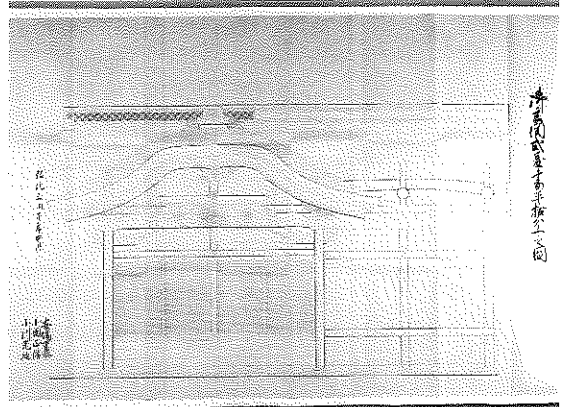
紙本著色藤堂高虎像  
(伊賀市 上行寺)



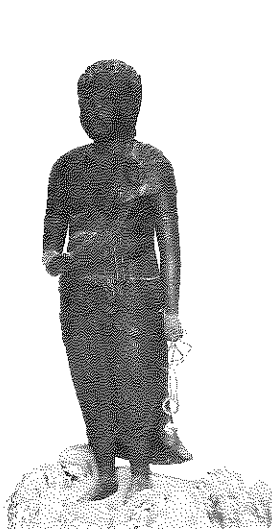
木造地藏菩薩立像  
(伊賀市 佛勝寺)



雲出島貫遺跡中世墓出土品  
(青磁碗・白磁碗・白磁皿・  
腰刀・方形鏡・漆塗小箱)



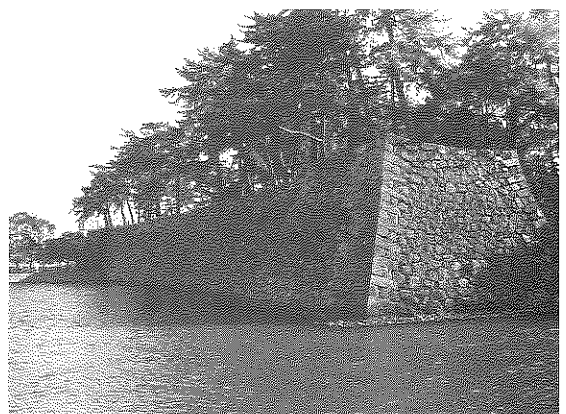
藤堂藩伊賀作事方関連文書  
(御玄関式台妻平拾分一之図)



木造不動明王立像  
(伊賀市 西蓮寺)



木造聖観音菩薩立像  
(伊賀市 廣禅寺)



津城跡 (本丸北石垣)  
(津市)

員 数 1 軀  
時 代 鎌倉時代前期  
所 在 地 伊賀市猪田2159  
所 有 者 佛勝寺  
告 示 三重県教育委員会告示第37号  
指 定 日 平成17年3月17日  
指 定 番 号 彫 111

概 要 佛勝寺本堂の左脇壇（向かって右）に安置される地蔵菩薩立像である。像高102.2cm、檜材の寄木造で、内割を施す。比丘形、剃髪。彫眼。白毫相をあらわす。両肩を覆う衣をつけ、その上に袈裟を着し、左肩前面に鑲をあらわして紐を片結びにして吊る。左腕は屈臂し、右腕は肘を軽く曲げて垂下して、両足を揃えて直立する。全身が後世の彩色に覆われている。

後世の彩色によりやや尊容が損なわれているが、面部や胸部の面取りの大きなゆったりとした形姿、浅くならかな弧を描く衣文などには平安末期彫刻の伝統を残す、一方で、衣を右腕内側で長く垂らし外側で短く懸ける点、衣端を胸前でやや複雑に折り返して鑲と紐で左肩に止めるなどの着衣法は13世紀に入って一般化する新しい趣向であり、折衷的傾向が強い点に本像の特徴がある。鑲と片結びの吊り紐を彫出した作例としては早期に属するもので、13世紀第1 四半期前後の作と考えられる。

・種 別 有形文化財（彫刻）  
名 称 木造不動明王立像  
員 数 1 軀  
時 代 平安時代後期  
所 在 地 伊賀市長田1913  
所 有 者 西蓮寺  
告 示 三重県教育委員会告示第37号  
指 定 日 平成17年3月17日  
指 定 番 号 彫 112

概 要 西蓮寺観音堂本尊の左脇侍として安置される不動明王立像である。

像高78.9cm、檜材の一木造で、内割りはない。巻髪の頭部から、弁髪を左肩に垂らす。彫眼、左目を眇める。閉口し、右牙が上出し、左牙が下出する。条帛を懸け、裳・腰布を着け、帯を正面で二重花結びとし先端を長く垂らす。臂釧、腕釧、足釧を彫出する。左腕は肘を屈して腰脇で剣（後補）を握る。顔をやや右前に向け、腰を右に寄せ左腰をやや後ろに引く。右足をわずかに前に出して立つ。現在はほとんど黒色化しているが、当初の白土下地や金箔、截金、朱彩色がわずかに残り、裳の前面に丸文の痕、裳裾の縁に幅広の文様帯の痕などがみられる。

軀幹部を一木で彫出し、弁髪、腰布・結び紐など細部に至るまで当初の造形を残した保存のよい像である。右肘先のみ後補のため、ややぎこちない姿勢にみえるが、本来は、わずかに右方を向き左腰を引いた微妙な動勢を巧みにあらわしていたもので、浅く精緻な衣文の彫口とともに、熟練した技量がかがわかる。やや童子風の細身の体軀ながら充実感があり、頭軀の比例もよい。激しい忿怒形の不動明王を、穏やかに典雅にまとめ、二重花結びの帯や截金彩色で繊細華麗に仕上げたもので、藤原和様の不動明王像中においても、12世紀前半に溯る中央的な作風を示す優作である。

・種 別 有形文化財（彫刻）  
名 称 木造聖観音菩薩立像  
員 数 1 軀  
時 代 平安時代後期  
所 在 地 伊賀市上野徳居町3260  
所 有 者 廣禪寺  
告 示 三重県教育委員会告示第37号  
指 定 日 平成17年3月17日  
指 定 番 号 彫 113

概 要 廣禪寺本堂の左脇壇（向かって右）に安置される聖観音菩薩立像である。像高166.7cmの等身像である。檜材の割刳造、あるいは、寄木造で、内刳り・割首を施す。髪を五束に結び、天冠台を彫出して、白毫相をあらわす。条帛を懸け、裙・腰布をつける。天衣は両肩から左右前膊に懸かり、体側に垂下する。両手は屈臂して前方に伸べ、左は腹前で未敷蓮華を握り、右は胸前で掌を斜め前に向けて立て、五指を伸ばす。腰を少し左に捻り、右を遊脚にして立つ。

面相は後補の厚い漆箔層におおわれて損じているが、平安時代後期の穏雅な趣は看取され、ゆるやかに面をとり、比例の整った体部にも定朝様の菩薩像の典型が示されている。平安時代後期、12世紀の作と認められる。腕の一部と垂下する天衣が後補であるほか、木部の保存はよく、できれば優れた貴重な遺品である。

・種 別 有形文化財（彫刻）  
名 称 木造獅子・狛犬  
員 数 2 軀  
時 代 平安時代後期  
所 在 地 伊賀市西山2265  
所 有 者 春日神社  
告 示 三重県教育委員会告示第37号  
指 定 日 平成17年3月17日  
指 定 番 号 彫 114

概 要 春日神社本殿の木階下の浜縁の左右に、安置されていた一対の獅子・狛犬像である。

【獅子像】 像高50.1cm。檜の一木造で、開口部中央から鋸を入れ頭と胴部を切断する。内刳りはない。瞋目、耳を垂らし、口を開いて上下歯・舌をあらわす。たてがみは顎および後頭部とも巻毛で、胴から離れる反毛をつくらない。軀を像自体の右方に向け、顔を正面に向ける。両前肢を揃えて立て、わずかに前傾姿勢で蹲踞する。わずかに背筋をあらわし、尾を立てる。表面を覆う紙張・彩色は後補である。

【狛犬像】 像高51.5cm。檜の一木造で、開口部中央から鋸を入れ、頭と胴部を切断し、やとい柄で接ぐ。内刳りはない。瞋目、頭頂に一角（亡失）を立て、耳を垂らし、閉口して上歯のみをあらわす。たてがみは胴に沿ってゆるやかに流れる直毛とし、口の左右のみを巻毛とする。軀を左方に向け、顔を正面に向ける。両前肢を揃えて立て、やや前傾姿勢で蹲踞する。背筋をわずかにあらわし、尾を立てる。表面を覆う紙張・彩色は後補である。

構造や作風が共通することから、もとより一具とみられる本像は、無角・開口の獅子像と有角・閉口の狛犬像の一対であったと考えられる。ともに両前肢が後補であり、後肢地付き部分にも補修が多いが、現存する獅子像後肢左足先から考える当初の坐勢は、ほぼ現状のように前肢をやや手前に引いた前傾姿勢であったとみられる。こうした坐勢に加え、たてがみの毛が平らかに体に沿い、立体的な強い反りをつくらない点、わずかな背筋以外にあばら骨や筋肉の凹凸を多くあらわさない点、細身の

体軀など、本像には和様の獅子・狛犬像の特徴が顕著に認められる。内割りのない一木造の構造であることから、制作年代は平安時代後期（12世紀半ば）に遡ると考えられ、和様の獅子・狛犬の稀少な作例として貴重である。

- ・種別 有形文化財（考古資料）
- 名称 雲出島貫遺跡中世墓出土品 腰刀1口、漆塗小箱1合、方形鏡1面、青磁碗2口、白磁碗1口、白磁皿4口、鉄製座金具2箇、鉄製合釘2箇、鉄製角釘2箇
- 員数 総数36点
- 時代 鎌倉時代
- 所在地 多気郡明和町竹川503
- 所有者 三重県（三重県埋蔵文化財センター）
- 告示 三重県教育委員会告示第37号
- 指定日 平成17年3月17日
- 指定番号 考 26
- 概要 雲出島貫遺跡（津市雲出島貫町字町中）の中世墓は、平成10年度県道嬉野津線橋梁工事に伴う発掘調査で発見された12世紀末から13世紀初頭の木棺墓である。大規模な屋敷地跡の一面から単独で確認され、長さ2.3m、幅0.9m、深さ0.4mの墓壇内から副葬品や釘などが一括して出土している。出土品には、副葬品として腰刀・漆塗小箱・方形鏡・貿易陶磁器、木棺の留め金具類として鉄製座金具・合釘・角釘がある。
- 腰刀は刀身部の長さ35.8cm、幅3.6cmである。柄部は木芯で下地に藍鮫皮を用い、黒漆が塗られる。鞘部には半円形の削り込みがあり、呑口式となる。鞘表には箆櫃と下緒を装着するための栗形、また、鞘裏には小柄櫃が認められる。発掘調査の出土品から刀の拵えが確認されたものとしては、県内初出である。漆塗小箱は長さ18.2cm、幅14.4cm、深さ1.5cmの薄い長方形の箱で、苧麻布を漆で貼り合わせた乾漆箱である。箱の中には一片8.4cm前後の方形鏡が納められ、鏡背の文様から「菊花双雀鏡」と呼ばれる中国の宋（湖州鏡）式の和鏡である。貿易陶磁器のうち青磁碗は龍泉窯系で、内面に櫛描文と劃花文を組み合わせた飛雲文や草花文が施される。また、白磁碗の内面には2本の沈圈線が巡り、白磁小皿には、花卉状に配した櫛描文や劃花文と櫛描文を組み合わせた草花文が見られる。木棺の留め金具類のうち、鉄製座金具は蓋部が円錐台状、座金は花菱形で装飾性があり、裏面に木質が付着する。鉄製合釘は棺材板を接合するための大形の釘で、鉄製角釘には4cm前後の6箇、5～8cmの12箇、13cm前後の4箇がある。
- 一般的に中世墓からの出土品としては、日用雑器などの土師器類が多く見受けられるが、雲出島貫遺跡の中世墓からは、当時では高価な貿易陶磁器が数多く、刀・鏡など豪華な副葬品や木棺の釘などが一括出土した。それぞれが希少性・重要性を持ち、遺存状態が良好なだけでなく、この地域における有力者の埋葬状況を解明する上で、重要な考古資料といえる。

- ・種別 有形文化財（歴史資料）
- 名称 藤堂藩伊賀作事方関連文書
- 規矩尺集 8巻8冊 規矩之萬記 1冊 伊賀作事方関連施設図面 81枚
- 附 七代喜右衛門直道手帳1冊 諸事控1冊 薬師堂表門拾分の一図 1枚
- 東京牛島屋敷図2枚 建築雛形本10種18冊
- 書盒2箱 「規矩尺集 伊賀作事方所蔵」の表記があるもの 1
- 「絵図 伊賀作事方所蔵」の表記があるもの 1



員 数 9冊81枚  
時 代 江戸時代後期～末期  
所 在 地 伊賀市上野玄蕃町183-51  
所 有 者 安場 豊  
告 示 三重県教育委員会告示第37号  
指 定 日 平成17年3月17日  
指 定 番 号 歴 3  
概 要 藤堂藩における伊賀地域の藩関係施設の建築・維持を担当した伊賀作事方の棟梁を務めた安場家に伝わる江戸時代末期の伊賀作事方に関する文書・書籍や図面類である。

『規矩尺集』は嘉永3年(1850)と同5年に、安場重恭ほか藤堂藩伊賀作事方により作成されたもので、上野城内の諸建築物から上行寺(藤堂家伊賀菩提寺)等の藩関連建築物に関する仕様、各部寸法、飾金物の意匠等の詳細且つリアルな8巻8冊の実測集である。

『規矩之萬記』は、地固め・水縄張りから瓦葺き・挽家等の事まで、伊賀作事方に伝来した様々な建築作業の要点を解説した重要な技術書で、寛延2年(1749)の写本である。

伊賀作事方関連施設図面は、上野を中心に名張、上柘植、平松、大坂などに所在する藤堂藩施設、並びに伊賀作事方が関与した寺社など44施設に関する81枚の図面で、保存図の性格を有するものと考えられる。平面、立面・断面、配置などの図面であり、縮尺は大半が十分の一であるが、五分の一、二十分の一、四十分の一、六十分の一の縮尺図も含まれる。いずれも精密に描かれ、一部図面には改修計画等を示す付箋、貼紙が付される。図面の時期は文政10年(1827)～嘉永7年(1854)で、特に嘉永2・3年(1849・1850)に作成されたものが多く(例外的に明治期のもの2枚を含む)、作成者として安場氏、小田氏、小川氏の名が記される。図に描かれた施設の多くは、『規矩尺集』にその詳細が記されており、両者は相互補完的關係にある一連の資料と考えられる。

『規矩尺集』及び伊賀作事方関係施設図面などは、江戸時代末期の藤堂藩伊賀作事方の調製した公文書の性格を持つものであり、伊賀作事方が組織的に、当時の藩施設ないし藩関連施設について整備した保存資料や参照資料の性格を有するものと考えられる。その表現内容は極めて詳細で充実しており、両者あいまって、伊賀の藤堂藩に関連する多様な建築施設を具体的に把握することができ、史料の価値は高い。

附の『諸事控』『建築雛形本』等は伊賀作事方の活動や技術的背景を示すものである。

・種 別 史 跡  
名 称 津城跡  
時 代 安土桃山時代～江戸時代  
所 在 地 津市丸之内5-1  
所 有 者 津市  
告 示 三重県教育委員会告示第38号  
指 定 日 平成17年3月17日  
指 定 番 号 史 80  
概 要 津城は、津藩32万石の藤堂氏の居城として置かれた、三重県を代表する平城である。

もとは、織田信長の弟信包によって創建されたもので、天正8年(1580)にはほぼ完成し、五層の天守閣が建てられたと考えられている。富田氏を経て慶長13年(1608)に入封した藤堂高虎は、本丸を東・北側に拡張して三層櫓を設け、内堀・外堀を整備するなど大改修を行った。

明治維新以後、外堀・内堀は徐々に埋められるなど、城地は次第に狭まり、現状では、本丸、西之丸と内堀の一部が残されている。

この中で、本丸には天守台、小天守台、埋門など信包による築城当初の遺構があり、本丸と西之丸の



石垣は、内堀に面した外側の石垣は一部に積み直しがあるものの、江戸期のものが9割以上残り、要所に配置された櫓台も含めて旧態を保っている。中でも本丸南側の石垣には、高虎が本丸を拡張した痕跡が明瞭に残り、築城の経過が伺える。また、内堀は本丸の北側から西之丸にかけてよく残っている。

一方、これまで、津城の城郭や城下町の研究は意外なほど行われておらず、特に考古学的な調査は、発掘調査はもちろん、地元に残された遺物の収集なども手つかずの状態である。したがって、城郭内の建物・施設等の遺構の概要は全く明らかになっていない。

その上、明治時代以降の、都市計画および公園化の中で、城郭内は大きく改変を受け、現在の城内には本来の津城とは無関係な施設等が散在している。今後、学術的研究を進めるとともに、保存・管理のあり方を検討する必要がある。

とはいえ、藤堂高虎によって修築されたことが明らかである本丸付近の堅固な石垣を中心として、残存状況は良好で、藤堂氏の主城としての風格を感じることができる。したがって、津城のうち本丸・西之丸を中心とした区域を県史跡として指定し、今後の保存と活用を目指すものである。

・種別 記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財

名称 切原富士講

所在地 度会郡南勢町切原

保持団体 切原富士講

概要 南勢町19集落の17ヶ所に浅間山がある。切原の浅間山(標高230m)は集落の真東に位置して、山頂の小祠には大日如来と浅間大菩薩を本尊として安置している。祭日は、旧5月28日に行なわれていたが、近年、日曜まつりに変わり7月の土・日2日間行なう。

精進人は、大祭前日の朝から垢離とりをはじめ。垢離場には細竹4本で鳥居が作られ注連縄がはられる。精進人は禪一枚で数珠を持って身体を一度水に沈め、上がったところで「南無浅間大菩薩」と唱えながら数珠を4度繰る。地下の垢離代を納めた人々の祈願は、水の中に頭を沈め全身の清めをする。

大祭当日は、午前2時より、餅は精進人たちが4本の堅杵で搗く。餅の搗き具合により三種類の餅搗き唄が使い分けられる。餅は参拝者、地下垢離を依頼した人々にも配られる。

大祭の夕垢離が終って切原浅間山にのぼるお山勸行が行われる。参道には湧き水があり霊水として信仰している。精進人は小幣を道中に立て、道中唄をうたいながら登山し大幣2本を山頂に立てる。小祠の前で般若心経を唱えて、その後、小祠の周りを4度回って下山する。

富士浅間信仰は、明治の神仏分離令で衰退しているが県下には多くの富士浅間信仰が地域的ひろがりをもって伝承されている。

切原では2年交替の本宮代参、浅間山大祭、祭具に用いる竹・ほら貝・りん・供え物としての餅・堅杵の餅搗など種々の特色がみられる。しかし、当屋の経済的負担・労力の不足、若年層の他出等で継承が困難になりつつあり、講員からの簡略化要望も強く、古来の伝統行事の維持が危惧される。

よって、「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」に選択し記録による保存をはかる必要がある。

## 5 三重県指定文化財の一部解除

- 種 別 有形文化財(建造物)  
 名 称 御城番屋敷 主屋東棟 主屋西棟 土蔵の内、 主屋東棟 主屋西棟  
 員 数 3棟の内2棟  
 所 在 地 松阪市殿町1381、1383-1、1384、1385  
 所 有 者 合資会社苗秀社  
 告 示 三重県教育委員会告示第39号  
 解 除 日 平成17年3月17日  
 理 由 文化財保護法第27条第1項の規定により、平成16年12月10日付け文部科学省告示第168号で重要文化財に指定されたため。
- 種 別 天然記念物  
 名 称 田光のシデコブシ及び湿地生物生息地  
 所 在 地 三重郡菰野町大字田光字西北山2563、2566、2571、2597-1、2601、2603、2612-1、2676-3、2771、2772、2773、2776、2781、2783、2784-46番地、三重郡菰野町大字田光字東北山2789-118番地  
 所 有 者 田光区、訓覇信雄  
 告 示 三重県教育委員会告示第40号  
 解 除 日 平成17年3月17日  
 理 由 文化財保護法第69条第1項の規定により、平成17年3月2日付け文部科学省告示第24号で天然記念物に指定されたため。

## 6 市町村指定文化財の指定

市町村名	種 別	名 称	員 数	所 在 地	所有者管理者	指 定 日
四日市市	有形(彫刻)	釈迦如来坐像	1 軀	四日市市山田町2172 暁覚寺	市指定文化財釈迦如来坐像	16. 8. 19
	有形(彫刻)	十一面菩薩立像	1 軀	四日市市山田町1912 安性寺	・十一面菩薩立像保存会	16. 8. 19
鈴鹿市	有形(彫刻)	木造阿弥陀如来立像	1 軀	鈴鹿市神戸2-20-8	龍光寺	16. 8. 26
	有形(書跡)	朴徳源筆體用山	1 面	鈴鹿市白子本町5-22	青龍寺	16. 8. 26
白山町	有形(彫刻)	木造大日如来坐像	1 軀	一志郡白山町大字二本木2159	浜城区	16. 11. 30
美杉村	有形(建造物)	八幡神社本殿	1 棟	一志郡美杉村奥津1238	八幡神社	16. 6. 8
	有形(彫刻)	木造阿弥陀如来立像	1 軀	一志郡美杉村下多気2780	西向院	16. 6. 8
	有形(古文書)	北畠具教奉行人教兼奉書	1 括	一志郡美杉村上多気1010 三杉ふるさと資料館	北畠神社	16. 6. 8

松阪市	有形(彫刻)	木造薬師如来立像	1 軀	松阪市松ヶ島町946	永福寺	16. 6. 17
多気町	有形(彫刻)	銅造菩薩形立像	1 軀	多気郡多気町相可361	大北博美	16. 7. 5
伊勢市	考古	蓮台寺滝ノ口経塚群 出土品	1 括	伊勢市岩淵1-7-29	伊勢市	16. 3. 31
磯部町	有形(工芸)	五知の赤旗	1 旗	志摩郡磯部町五知253	五地区	16. 8. 23
	無形民俗	渡鹿野の天王祭	—	志摩郡磯部町渡鹿野	渡鹿野区	16. 8. 23
	無形民俗	坂崎の神祭	—	志摩郡磯部町坂崎	坂崎区	16. 8. 23
上野市	有形(建造物)	藤堂家所縁御殿の門	1 棟	上野市丸之内117-4	上野市	16. 9. 30
	有形(彫刻)	木造千手観音立像	1 軀	上野市山出1658	勝因寺	16. 9. 30
	有形(彫刻)	石造地藏菩薩坐像	1 軀	上野市寺田字坂之東944 地藏堂	清正寺	16. 9. 30
	有形 (歴史資料)	廃補陀落寺 五町石	1 基	上野市西高倉字豆土 649-3	上野市	16. 9. 30
	有形 (歴史資料)	西嶋家文書	168点	上野市丸之内40-5 上野市図書館	上野市図書 館寄託	16. 9. 30
	有形 (歴史資料)	藤堂家歴代供養墓所	1 3 基	上野市寺町1165	上行寺	16. 9. 30
	有形民俗	三田神社神楽踊装 束・用具類 附 三田神社所蔵神 楽踊歌本	1 式	上野市三田2477	三田神社	16. 9. 30
天然記念物	サギスゲ群生地	—	上野市下神戸2082	川崎 進	16. 9. 30	

## 7 市町村指定文化財の指定解除

市町村名	種別	名称	所在地	所有管理者	解除日	解除理由
津市	史跡	津城跡	津市丸之内5-1	津市	17. 3. 17	県指定史跡に 指定のため

市町村名	種別	名称	技術保持者	住所	解除日	解除理由
尾鷲市	無形(芸能)	尾鷲節笛	山西 重徳	尾鷲市大字南浦 177	16. 4. 24	本人死亡のため

## II 文化財の調査事業

### 1 特別天然記念物カモシカ（S30. 2. 15指定）調査〔国庫2/3補助・三重県 1,800千円〕

#### (1) 特別天然記念物カモシカ通常調査

##### ①調査目的

特別天然記念物カモシカは、三重県内において昭和58年9月に鈴鹿山地の保護地域が設定され、平成元年7月に紀伊山地の保護地域も設定された。カモシカの永続的な保存のために絶えず現状を把握し、適切な保護措置をとるとともに、基本的なデータを蓄積して、5年に1度実施される特別調査を補完するものである。

##### ②調査体制

調査主体 三重県教育委員会

調査指導 富田 靖男（元三重県立博物館館長）

武田 明正（三重大学名誉教授）

松原準之助（元三重県森林組合連合会長）

現地調査 三重県文化財保護指導委員（カモシカ調査員）

鈴鹿山地担当

三輪 英夫・近藤 恒三（いなべ市藤原町）小森 良一・出口 幸雄（いなべ市北勢町）

山下 久雄・岩花 正己（いなべ市大安町）満田 学・山野 直也（菰野町）

大野 洋也・門脇 秀源（四日市市）前田 有・前田 伸士（鈴鹿市）

紀伊山地担当

今西 隆次（飯高町）岡本 宏之・水谷 哲也（宮川村）

小島 弘也・宮坂幸治郎（紀伊長島町）大西 克明・玉津 直人（海山町）

吉澤 映之・吉澤 重之（尾鷲市）

##### ③三重県カモシカ保護連絡会議

期 日 平成16年8月26日（木）

場 所 宮川村林業総合センター（宮川村江馬）

出席者 三重県カモシカ保護管理指導委員：富田靖男・武田明正・松原準之助

三重県文化財保護指導委員（カモシカ調査員）9名

関係市町村教育委員会

関係教育事務所・県教育委員会文化財保護室

#### (2) 特別天然記念物カモシカ保護指導委員並びに保護行政担当者会議

・目的 特別天然記念物カモシカ保護地域内およびその周辺における生息状況・個体群の構成と動向、食害状況

況等についての情報交換を行うとともに、今後の保護管理施策、食害対策等について協議する。

・主催 文化庁・京都府教育委員会

・期 日 平成16年10月28日（木）～29日（金）

・会 場 美山町文化ホール 及び 伊吹・比良山地カモシカ保護地域

・出席者 富田靖男・松原準之助（三重県指導委員） 村岡一幸（文化財保護室）

### 2 近代和風建築総合調査〔国庫1/2 1,600千円・県1/2 1,600千円〕

#### ① 調査趣旨

三重県内に所在する近代和風建築（主に明治時代から昭和20年代まで）の所在並びにその内容の悉皆調査を行い、記録を作成し、近代和風建築の保存とこれらを活かした特色あるまちづくり等への活用の基礎資料とする。また、主要・代表的なものについては国・県文化財への指定・登録を行い重点的な保存活用を図る。

#### ② 調査体制

調査主体 三重県教育委員会

調査指導委員 菅原 洋一 (三重大学助教授) 小玉 道明 (三重県史編纂専門委員)  
 溝口 正人 (名古屋市立大学大学院助教授) 西澤 泰彦 (名古屋大学助教授)  
 清水 重敦 (奈良文化財研究所研究員)

調査員 (近代和風建築総合調査調査員)

西羽 晃 (桑名市・多度町・長島町・木曾岬村)	渡部 勇 (いなべ市・東員町)
北野 保 (四日市市・楠町・朝日町・川越町)	神田 薫 (菰野町)
伊藤 久嗣 (鈴鹿市)	嶋村 明彦 (亀山市・関町)
浅生 悦生 (安濃町・芸濃町・美里村・河芸町)	大城 哲也 (専修寺・一身田)
園田 純子 (津市)	大森 尚子 (久居市)
新田 洋 (一志町・嬉野町・三雲町・香良洲町)	瀧川 和也 (白山町・美杉村)
下村 登良男・門 暉代司 (松阪市・明和町・多気町・勢和村・飯南町・飯高町)	
出口 圭一 (大台町・大宮町・紀勢町・大内山村・宮川村)	
松月 久和・高橋 徹 (伊勢市・二見町・御薮村・玉城町・小俣町・度会町・南島町・南勢町)	
野村 隆史 (鳥羽市)	村上 喜雄 (志摩市)
滝井 利彰・池澤 邦仁・中川 甫 (伊賀市・名張市)	
田崎 通雅 (尾鷲市・紀伊長島町・海山町)	福村 直人 (熊野市)
岩本 直樹 (御浜町・紀宝町・鶴殿村・紀和町)	野村 俊也

調査協力員 井川 博文、久安 典之、北川 早苗、川本 玉真美、煎本 太郎

③ 事業概要

平成16～17年度の2ヶ年事業として実施する。平成16年度は県内に所在する近代和風建築の所在調査(1次調査)を行いリスト化を図るとともに、主要な建築の詳細調査を行った。

④ 調査指導委員会等

第1回 指導委員会 平成16年12月9日  
 調査員会議 平成17年1月6日・1月8日  
 第2回 指導委員会 平成17年3月9日

3 松浦武四郎関係資料調査 史料調査 [国庫1/2 1,290千円・県1/10 258千円・三雲町 1,032千円]

① 調査趣旨

東京在住の松浦家から平成12年11月に寄託を受けた松浦武四郎関係の歴史資料(絵画・書跡・文書・地図など総数約1,000点)について詳細調査を行い、全容を明らかにして、保存・活用するための基礎資料を作成する。

② 調査組織

[事業主体] 三雲町

[調査員]

岡本 勝 (中部大学教授) 佐藤 貞夫 (松浦武四郎記念館運営審議会副委員長)  
 安村 敏信 (板橋区立美術館学芸係長) 山田 哲好 (国文学研究資料館史料館助教授)

③ 事業概要

平成15～16年度の2ヶ年事業として実施。平成16年度は6・7月に松浦武四郎記念館で集中的に史料調査を行うとともに、国文学研究資料館・国会図書館などに所在する武四郎関係資料の調査を行った。さらに、調査成果のデータベース化、書簡類の解読などを進め、調査成果を報告書として刊行した。

4 伊勢神宮領農村文書調査 史料調査 [国庫1/2 1,500千円・県1/10 300千円・伊勢市 1,200千円]

① 調査趣旨

伊勢神宮領であった伊勢市の四郷地区の諸町には、総点数約15万点の古文書、古記録などが所蔵されている。これら四郷地区諸町の史料群は、伊勢神宮領の農村の村落構造、参宮客の受け入れ態勢、宇治会合という住民組織による行政支配、山田奉行や伊勢神宮との関係等を解明する上で重要なものである。しかし、保存環境が整っておらず、史料群の内容も明らかとなっていないため、早急に包括的な資料調査を行い資料の保存活用に資する。なお、三重県史編纂事業・伊勢市史編纂事業と分担・連携して調査を行う。

② 調査組織

[調査主体] 伊勢市

[指導委員]

上野 秀治 (皇學館大学教授)	茂木 陽一 (三重短期大学教授)
塚本 明 (三重大学助教授)	田浦 雅徳 (皇學館大学助教授)
間宮 忠夫 (伊勢市文化財調査会会長)	吉村 利男 (三重県生活部県史編纂G)
藤谷 彰 (三重県生活部県史編纂G)	

[専門委員]

上野 秀治 (皇學館大学教授)	茂木 陽一 (三重短期大学教授)
塚本 明 (三重大学助教授)	田浦 雅徳 (皇學館大学助教授)
上野 周子 (三重県史編纂室嘱託)	川口 愛 (三重県史編纂室嘱託)
日野出 英彦 (三重県史専門調査員)	谷口 央 (日本学術振興会特別研究員)
門 暉代司 (三重県史専門調査員)	

[調査協力員]

千枝 大志、窪寺 恭秀、広瀬 久志、山本 梨加、細野 公大、土屋 千浩、石川 達也、石倉 みづき、山田 修史、西村 有加、中川 亜紀、藤田 麻衣、南平 陽子、喜田 朋佳、西村 彩、山下 太志、板倉啓太郎、西濱 広亮、長縄 智美、丹羽 明美、山口 和恵、杉本 喜一、篠原 一博、福浦 弘幸

③ 事業概要

平成15～19年度の5ヶ年事業として実施予定である。当該事業では主に楠部町・中村町の所蔵資料を対象とし、平成16年度は楠部町・中村町の調査を並行して行い史料カードを作成した。

④ 調査指導委員会

調査指導委員会 第3回 平成16年8月2日  
第4回 平成17年3月7日

5 市内遺跡詳細分布調査等

(1) いなべ市 市内遺跡発掘調査等 [国庫 1/2 1,000 千円・県費 1/6 333 千円・いなべ市 667 千円]

平成16年度から平成20年度まで5ヶ年事業で市内遺跡の詳細分布調査を行う。各年度で順次、合併前の旧町の詳細分布を実施。

(2) 松阪市 市内遺跡発掘調査等 [国庫 1/2 1,000 千円・県費 1/6 333 千円・松阪市 667 千円]

平成14年度から平成16年度まで3ヶ年事業で市内遺跡の詳細分布調査を行う。今年度は詳細分布地図作製。

6 埋蔵文化財緊急発掘調査

(1) 国史跡齋宮跡緊急発掘調査 [国庫 1/2 10,883 千円・三重県 10,883 千円]

国史跡齋宮跡解明のために2地区1,050㎡の計画調査を実施した。また、これまでの調査成果を管理する、齋宮跡調査管理システムを開発した。

次数	地区	面積㎡	期間	主要遺構・遺物
143	柳原地区	500	5/21～8/12	道路跡・竪穴住居・掘立柱建物・井戸・土坑 土師器・須恵器・灰釉陶器・緑釉陶器・製塩土器・土錘・鉄釘・鉄滓
144	中垣内地区	550	8/18～11/17	掘立柱建物・竪穴住居・土坑・方形周溝墓 弥生土器・円面硯

(2) 経営体育成基盤整備事業等発掘調査

[農林水産商工部執行委任調査・埋蔵文化財センター 総事業費 71,752 千円うち農家負担分 7,688 千円  
国庫 1/2 3,844 千円・三重県 3,844 千円]

事業名	遺跡名	所在地	面積㎡	調査費(千円)	調査期間
経営体育成基盤整備事業	地蔵前遺跡	亀山市三寺町	729	報告書	5/21~7/23
	有井遺跡他	上野市西明寺	4,918		9/9~1/31
	スブクリ遺跡他	松阪市広瀬町他	4,045		5/7~5/19
	里前遺跡	津市野田			8/19~12/3
計			9,692	7,688	

(3) 市町村遺跡発掘調査

・伊勢国府ほか発掘調査等 [国庫 1/2 2,500 千円・県費 1/6 833 千円・鈴鹿市 1,667 千円]

伊勢国府の所在が明らかとなり、一部国史跡に指定された長者屋敷遺跡のほか、市内の重要遺跡の範囲確認などのための基礎データを収集し、将来の保存管理計画の基礎資料を得た。

(範囲確認調査)

遺跡名	所在地	原因	期間	面積㎡	主要遺構・遺物
三宅神社遺跡	国府町字貝下 1637 番 1	個人住宅	H16.4.9	30	遺構あり・遺物あり
原永遺跡	南若松町 397-1	個人住宅	H16.4.21	6	遺構・遺物なし
北蟻越遺跡	庄野町字北蟻越 2550-13 他 13 筆	個人住宅	H16.5.7	23	遺構・遺物なし
長者屋敷遺跡	広瀬町字中土居 1288 番 1	農業倉庫	H16.5.25	6	遺構・遺物なし
西川遺跡	郡山町野口 795-1	宅地造成	H16.6.30	36	遺構・遺物あり
梅田遺跡	国府町字治家 3261 番 2	個人住宅	H16.7.27	6	遺構なし・遺物あり
西ノ野遺跡	国府町字西ノ野 16 番 21	個人住宅	H16.7.27	9	遺構・遺物なし
里遺跡	木田町字里 2541-2	個人住宅	H16.8.23	4	遺構・遺物なし
里遺跡	木田町字里 2547-2	個人住宅	H16.8.23	14	遺構・遺物あり
竹野一丁目遺跡	竹野一丁目 2 番 1	宅地造成	H16.9.3	120	遺構・遺物あり
須賀遺跡	矢橋三丁目 288 番	宅地造成	H16.9.16	46	遺構・遺物あり
白鳥塚 1 号墳	石薬師町字北松塚	公園計画	H16.9.16	36	遺構・遺物なし
石薬師東遺跡	石薬師町字山起 571 番地 93	個人住宅	H16.10.4	6	遺構・遺物なし
包蔵地外	伊船町 2702 番地 1	地区集会所	H16.10.4		遺構・遺物なし
国府城跡	国府町字貝下長之城 1725-5	個人住宅	H16.10.6	8	遺構・遺物あり
三宅神社西遺跡	国府町字貝下 1601・1602	個人住宅	H16.11.5	58	遺構・遺物あり
須賀遺跡	矢橋三丁目 284, 285	宅地造成	H16.11.10	35	遺構なし・遺物あり
竹野一丁目遺跡	竹野一丁目 7 番 1	集合住宅	H16.11.17	26	遺構・遺物なし
加佐登遺跡	加佐登一丁目 2557-1	個人住宅	H16.11.20	10	遺構・遺物あり
国分北遺跡	国分町字野田 623-2	工場建設	H16.12.9	30	遺構・遺物あり
石丸野遺跡	平野町字石丸野 7713-10	個人住宅	H17.1.6	8	遺構あり・遺物なし
三日市南遺跡	三日市町字赤土田 1029	集合住宅	H17.1.12	42	遺構・遺物なし
計				559	



(本調査実施分)

遺跡名	所在地	原因	期間	面積 m <sup>2</sup>	主要遺構・遺物
里遺跡	木田町字里 2547-2	個人住宅	H16. 8. 25 ~8. 28	100	柱穴
平田遺跡【2次】	平田本町一丁目 174-10, -15, -3	個人住宅	H16. 9. 14 ~10. 30	355. 2	溝・掘立柱建物
平田遺跡【4次】	平田本町一丁目 91-13, -14	個人住宅	H17. 1. 7~ 1. 19	90	土師器焼成坑・土坑・柱穴
平田遺跡【5次】	平田本町一丁目 174-8	個人住宅	H17. 3. 1・2	132	溝・掘立柱建物
国府城跡	国府町字長之城 1725-5	個人住宅	H16. 10. 25 ~10. 29	54	溝・柱穴
三宅神社西遺跡	国府町字貝下 1601・ 1602	個人住宅	H16. 11. 29 ~12. 15	58	溝・掘立柱建物3棟分の柱穴
計				789. 2	

指導委員 八賀 晋 (三重大学名誉教授)  
 渡辺 寛 (皇學館大學教授)  
 金田 章裕 (京都大学副学長)  
 川越 俊一 (奈良文化財研究所)  
 高瀬 要一 (奈良文化財研究所)  
 和田 勝彦 (四日市市立博物館)  
 大場 範久 (鈴鹿市文化財調査会会長)

指導委員会議 平成 16 年 11 月 8 日

・ 町内遺跡発掘調査等 [国庫 1/2 1, 250 千円・三重県 1/6 416 千円・松阪市(旧嬉野町) 834 千円]  
 市街化の町中心部を中心に、重要遺跡の範囲確認を行い、埋蔵文化財保護の基礎的データを得た。

遺跡名	所在地	原因	期間	面積 m <sup>2</sup>	主要遺構・遺物
下之庄遺跡	嬉野町下之庄	病院建設	H16. 4. 3	16	遺構・遺物なし
八田城跡	嬉野町八田	地区公園整備	H16. 7. 11 ~7. 15 H16. 10. 1 ~10. 3	30	遺構・遺物なし
新出遺跡	嬉野町下之庄	保育園建設	H16. 10. 1 ~10. 30	150	遺物(奈良時代)
新出遺跡	嬉野町下之庄	下水道工事	H16. 8. 1	48	遺物(瓦)
森本城跡	松阪市嬉野森本町	墓地建設	H17. 1. 17 ~1. 20	32	遺構・溝 遺物・土師器
竜王野遺跡	松阪市嬉野須賀領町	福祉施設建設	H17. 3. 21	32	遺構・溝
小野江遺跡	松阪市小野江町	個人アパート建設	H17. 1. 31	50	遺構・土坑、柱穴 遺物・土師器、須恵器
中林遺跡	松阪市中林	個人アパート建設	H17. 2. 8	45	遺構・溝 遺物・土師器
中林遺跡	松阪市中林	団地造成	H17. 3. 2 ~3. 3	80	遺構・土坑 遺物・土師器
伊勢寺遺跡	松阪市深長町	個人病院建設	H17. 3. 9	32	遺構・土坑 遺物・土師器

片部遺跡	松阪市嬉野中川町	マンション建設	H17. 2. 21 ～3. 10	48	遺構・溝 遺物なし
久米遺跡	松阪市久米町	個人アパート建 設	H17. 3. 21 ～3. 28	30	遺構・遺物なし
杉垣内遺跡	松阪市深長町	個人住宅	H17. 3. 25	16	遺構・溝 遺物・土師器
計				609	

- ・村内遺跡発掘調査等 [国庫 1/2 4,500 千円・県費 1/6 1,500 千円・美杉村 3,000 千円]  
多気地内の北畠氏関連遺跡の学術調査を行い、史跡指定にむけての基礎的データを収集した。

遺 跡 名	所 在 地	原 因	期 間	面積㎡	主要遺構・遺物
多気北畠氏遺跡 第 26 次調査 (北畠氏館跡第 12 次)	上多気字馬場	実態解明の学術 調査	H16. 10. 26 ～17. 3. 31	430	石列・土師器 陶器
計				430	

- ・町内遺跡発掘調査等 [国庫 1/2 1,950 千円・県費 1/6 650 千円・朝日町 1,300 円]  
町内の重要遺跡の範囲確認調査を行う。今年度は復興萬古焼の祖森有節の窯跡とみられる名谷 A・B 遺跡  
の基礎的データを得た。

- ・御館・柳原遺跡ほか発掘調査等 [国庫 1/2 2,000 千円・県費 1/6 666 千円・明和町 1,334 千円]  
遺跡地内における個人住宅の申請に対応し、事前に地下遺構等の実態を把握することで、遺跡保護のデータ  
を収集する。

遺 跡 名	所 在 地	原 因	期 間	面積㎡	主要遺構・遺物
斎宮跡 第 145-1 次調査	竹川字東裏	個人住宅新築	H16. 4. 13 ～5. 6	425	掘立柱建物・土坑・ 溝
斎宮跡 第 145-2 次調査	斎宮 2876	個人住宅新築	H16. 4. 7 ～4. 8	47	
斎宮跡 第 145-13 次調査	竹川字東裏	個人住宅新築	H16. 8. 31 ～9. 1	47	落ち込み・柱穴
斎宮跡 第 145-16 次調査	斎宮字西前沖	個人住宅新築	H16. 10. 4 ～10. 7	43	柱穴
斎宮跡 第 145-17 次調査	斎宮 3269-1	個人住宅新築	H16. 11. 2 ～11. 9 H17. 1. 13 ～1. 14	60	溝・落ち込み・柱穴
斎宮跡 第 145-19 次調査	斎宮字北野 2501	個人住宅新築	H16. 11. 17 ～12. 1	110	溝・土坑・柱穴
斎宮跡 第 145-23 次調査	斎宮 2604 - 52	個人住宅新築	H17. 2. 9 ～3. 8	30	柱穴
計				762	

## 7 民俗文化財の調査

春日神社の石取祭総合調査 [国庫 1/2 2,000 千円・県費 1/10 400 千円・桑名市 1,600 千円]

### ① 目的

三重県北勢部・岐阜県南部・愛知県西部にわたり広域に分布する石取祭或いは類似する曳山祭の中で、春日神社の石取祭がもつ独自性について、また近世から近現代を通じ社会や経済の中でどのような位置を占めていたかなどの観点から総合的に調査を行う。

### ② 事業内容

平成14年度から17年度にかけて春日神社の石取祭について総合的な調査を行うとともに、お囃子の体験学習会などの普及・伝承事業を合わせて行う。

### ③ 調査体制

#### 〔調査委員会〕

小西 良輝 (桑名市助役) 会長  
植木 行宣 (三重県文化財保護審議会委員・  
前京都学園大学教授) 副会長  
岡田 照子 (三重県文化財保護審議会委員・  
岐阜女子大学名誉教授)  
樋口 昭 (創造学園大学教授)  
鬼頭 秀明 (中京大学講師)  
野村 史隆 (桑名市文化財保護審議会委員)  
小津 嘉彦 (桑名市教育委員会教育長)  
望月 昌樹 (桑名市産業振興部長)  
椽尾 健三 (桑名市教育委員会教育部長)  
丹羽 千尋 (桑名市博物館長)  
有村 昭彦 (桑名市政策課政策員)  
不破 正人 (春日神社宮司)  
伊藤 正巳 (石取祭保存会会長・桑名宗社社頭)  
藤井 重信 (桑名宗社社頭)  
佐藤 茂夫 (桑名宗社社頭)  
伊藤 博章 (桑名宗社副社頭)

#### 〔調査団〕

植木 行宣 (三重県文化財保護審議会委員・  
前京都学園大学教授) 団長  
樋口 昭 (創造学園大学教授) 副団長  
鬼頭 秀明 (中京大学講師) 副団長  
東條 寛 (四日市市教育委員会)  
日比野 晃 (中日本自動車短期大学教授)  
浦西 勉 (奈良県教育委員会文化財保存課)  
小川 雅生 (石取祭車研究者)  
関 孝夫 (民俗研究者)  
和田 光生 (大津市立歴史博物館学芸員)  
小西 恒典 (名古屋博物館学芸員)  
橋本 章 (長浜城歴史博物館学芸員)  
増田 雄 (水口町自治体史編纂準備室調査員)  
鵜飼 均 (仏教大学非常勤講師)  
大西 稔子 (栗東歴史民俗博物館学芸員)  
岸本 誠司 (近畿大学非常勤講師)  
佐藤 直幸 (大体大浪商高校・大体大付属中学校講師)  
三国 信一 (亀山市歴史博物館学芸員)  
向田 明弘 (日吉町立資料館学芸員)  
入江 宣子 (福井県文化財保護審議会委員)  
田井 竜一 (京都市立芸術大学助教授)  
鈴木 由喜子 (京都女子大学非常勤講師)  
久志本 まどか (民俗研究者)  
水野 耕嗣 (国立岐阜工業高等専門学校教授)  
久保 智康 (京都国立博物館工芸室長)  
藤井 健三 (染織研究者)

### Ⅲ 文化財の保護事業

#### 1 県費補助事業（国庫補助事業分）

##### (1) 建造物保存修理事業

###### ① 専修寺御影堂（専修寺・津市）〔S36. 6. 7指定〕

事業概要 全体計画 平成11年度から19年度まで専修寺御影堂の半解体修理。  
16年度事業（木工事・屋根工事・左官工事・建具工事・金具工事など）

事業費 総事業費 2,950,000千円（平成11～19年度）  
H16年度280,000千円（国65% 182,000千円、県10% 28,000千円）

設計監理 財団法人文化財建造物保存技術協会

工事請負 株式会社竹中工務店名古屋支社

指導委員

鈴木 嘉吉（前奈良国立文化財研究所長） 金野 潔（京都大学名誉教授）

菅原 洋一（三重大学助教授） 平松 令三（前龍谷大学教授）

指導委員会

平成15年5月13日

###### ② 諸戸家住宅主屋ほか2棟（諸戸会・桑名市）〔H14. 12. 26指定〕

事業概要 台風被害を受けた主屋屋根修理、玉突場屋根養生・玄関格納、広間下屋養生。

事業費 4,000千円（国80% 3,200千円、県10% 400千円）災害復旧

設計監理 財団法人文化財建造物保存技術協会

工事請負 清水建設株式会社名古屋支店

##### (2) 伝統的建造物群保存事業

関町関宿重要伝統的建造物群保存地区・保存修理（関町）〔S59. 12. 10選定〕

事業概要 関町関宿重要伝統的建造物群保存地区区内において、建造物等の保存のため修理工事。  
修理 10件（半解体修理 1件、部分修理 9件）

事業費 30,000千円（国50% 15,000千円、県10% 3,000千円）

設計監理 町教育委員会

工事請負 地元建築会社等

##### (3) 美術工芸品保存修理事業

木造薬師如来坐像（四天王寺・津市）〔T2. 8. 20指定〕

事業概要 劣化が進行していた漆箔の剥落止め、虫損等の充填、彩色補正等の修理を実施。

事業費 4,511千円（国60% 2,706千円、県10% 451千円）

工事請負 財団法人美術院

##### (4) 建造物防災施設事業

諸戸家住宅（諸戸会・桑名市）〔H14. 12. 26指定〕

事業概要 主屋に自動火災報知設備を設置。

事業費 5,381千円（国65% 3,497千円、県10% 538千円）

設計監理 株式会社林廣伸建築事務所

工事請負 能美防災株式会社名古屋支社

**(5) 美術工芸品防災施設事業**

木造阿弥陀如来立像（慈恩寺・亀山市）〔S12. 8. 25指定〕

事業概要 本堂の老朽化による改修工事に伴い平成15・16年度の2カ年で実施。平成16年度は自  
火報・消火栓・ポンプ及び自家発電・照明を設置し、工事を完了。

事業費 9,188千円（国定額 6,891千円、県10% 918千円）

工事請請負 堀田建設株式会社

**(6) 美術工芸品保存活用整備事業**

木造慈恵大師坐像（観音寺・四日市市）〔T2. 8. 20指定〕

事業概要 収蔵庫の老朽化ため、内装を板壁に改装、換気口機能回復、自火報感知器取替。

事業費 2,500千円（国50% 1,250千円、県10% 250千円）

工事請請負 有限会社建築モリデラ

**(7) 重要無形文化財保持団体補助事業**

伊勢型紙（伊勢型紙技術保存会・鈴鹿市）〔S30. 2. 15・平成5. 4. 15認定〕

事業概要 技術錬磨のため復刻作品の作成や伝承者の養成のための研修会、関連産地の視察の  
実施、原材料（型地紙）や諸道具の確保を行い、技術の保存を図る。  
普及啓発のため、文化庁主催展覧会「日本の技と美」などに作品を出品。

事業費 7,000千円（国定額（77%） 5,400千円、県10% 700千円）

**(8) 民俗文化財伝承・活用事業**

① 上野天祭のダンジリ行事（上野文化美術保存会・伊賀市）〔H14. 2. 12指定〕

事業概要 鍛冶町の楼車前幕の復元新調

事業費 3,080千円（国50% 1,540千円、県10% 308千円）

工事請請負 龍村美術織物

**(9) 史跡等保存整備事業**

① 伊勢国分寺跡（鈴鹿市）〔T11. 10. 12指定〕

事業概要 国史跡伊勢国分寺跡の整備実施計画策定のため主要伽藍の位置確認調査を行う。

16年度事業 1,100㎡の発掘調査の結果、僧坊の規模、伽藍東1/3を区画する南北方向の築地塀と  
北辺築地塀との接点を確認した。塔跡の確認のため南東院の大型掘立柱建物の西を調査  
したが、塔跡は発見できなかった

事業費 5,000千円（国50% 2,500千円、県10% 500千円）

指導委員

八賀 晋（三重大学名誉教授）

渡辺 寛（皇學館大学教授）

高瀬 要一（奈良文化財研究所遺跡研究室長）

川越 俊一（奈良文化財研究所考古第二調査室長）

大場 範久（鈴鹿市文化財調査会会長）

和田 勝彦（四日市市立博物館館長）

指導委員会

平成16年11月8日

② 天白遺跡（松阪市）〔H12. 4. 11指定〕

事業概要 天白遺跡は縄文時代後期の配石遺構や祭祀遺物が確認された遺跡であり、整備実施計  
画策定のための確認調査を行い、整備実施設計を行う。

16年度事業 遺構確認調査（約600㎡）、花粉分析、整備実施設計を実施。

事業費 8,000千円（国50% 4,000千円、県10% 800千円）

各種調査 実施設計委託：株式会社 空間文化開発機構  
花粉分析：株式会社 パレオ・ラボ

指導委員

八賀 晋 (三重大学名誉教授) 泉 拓良 (京都大学教授)  
岡村 道雄 (奈良文化財研究所平城宮跡調査部長)

指導委員会

平成17年1月25日・平成17年3月16日

③ 上野城跡 (伊賀市) [S42. 12. 27指定]

事業概要 「史跡上野城跡保存整備 (前期) 実施計画」にもとづき、城代家老屋敷跡を中心に発掘調査等により遺構の解明を図り、その成果を踏まえて保存整備を進めることにより、文化財としての価値を顕在化し、活用を図る。

16年度事業 史跡整備の基礎資料するため、城代家老屋敷跡南東部及び南西部や屋敷建物の中央部の東側と西側、台所門の発掘調査 (400㎡)、土壌分析を行った。

事業費 6,000千円 (国50% 3,000千円、県10% 600千円)

各種調査 土壌等分析：環境考古研究会

指導委員

八賀 晋 (三重大学名誉教授) 服部 英雄 (九州大学教授)  
高瀬 要一 (奈良文化財研究所遺跡研究室長) 増淵 徹 (京都橘女子大学助教授)  
菅原 洋一 (三重大学助教授) 藤田 達生 (三重大学助教授)  
福井 健二 (上野市文化財専門委員)

指導委員会

平成16年11月30日・平成17年1月24日

④ 赤木城跡及び田平子峠刑場跡 (紀和町) [H元. 10. 9指定]

事業概要 赤木城跡は、藤堂高虎により天正16 (1588) 年に築城され、戦国末期の遺構をきわめて良好に残し、近世城郭の原型を示している。当地域の発掘調査及び保存整備を行う。

16年度事業 整備の最終年度として、南郭3への説明板設置、歩道の手摺り設置、整備報告書の作成を行った。また、台風10号の暴風雨により崩落した南郭3の斜面を、復旧した。

事業費 3,800千円 (国50% 1,900千円、県10% 380千円)

1,500千円 (災害復旧：国70% 1,050千円、県10% 150千円)

工事請負 案内板：ヤシキ工芸社 整備：山瀬造園

指導委員

八賀 晋 (三重大学名誉教授) 服部 英雄 (九州大学教授)  
樋田 清砂 (三重県史編纂専門委員) 前 千雄 (三重県史資料調査委員)  
伊東 太作 (国際航業技師長) 高瀬 要一 (奈良文化財研究所遺跡研究室長)  
福角 晏次 (紀和町文化財専門委員) 久保 幸一 (前紀和町教育委員会教育長)

指導委員会

平成16年10月21～22日

⑤ 宝塚古墳 (松阪市) [S7. 4. 25指定、S53. 9. 18追加指定]

事業概要 宝塚古墳の有する価値を顕在化し、古代の文化や歴史にふれ、学ぶ空間として保存整備を図る。

16年度事業 1・2号墳の整備工事、1号墳への埴輪レプリカの設置、及び発掘調査報告書の作成を行い、平成11年度からの保存修理事業を終えた。

事業費 30,000千円（国50% 15,000千円、県10% 3,000千円）

設計監理 株式会社空間文化開発機構

工事請負 企業組合三重中高年雇用福祉事業団 村田建設株式会社

植輪レプリカ制作 株式会社サカエ 西日本支店

指導委員

八賀 晋（三重大学名誉教授） 下村登良男（松阪市文化財保護委員）

山中 章（三重大学教授） 谷本 鋭次（前三重県立博物館長）

山澤 義貴（元三重県埋蔵文化財センター副参事）

指導委員会

平成17年3月16日

⑥ 斎宮跡（明和町）〔S54. 3. 27指定〕

事業概要 史跡北東端に位置する、建物の残骸や基礎が残る旧陸軍施設跡を、『斎宮跡整備基本構想』にもとづく「集落地区整備ゾーン」の一部として整備する。

16年度事業 地下遺構の確認のための発掘調査および測量・設計を行った。

事業費 3,000千円（国50% 1,500千円、県10% 300千円）

測量設計 株式会社明和プラテック

(10) 歴史の道整備活用推進事業

① 史跡熊野参詣道（紀伊長島町）〔H14. 12. 19 指定〕

総事業費 48,796千円（平成13年～16年度継続事業）

16年度事業 22,362千円（国50% 11,000千円 県25% 5,500千円）

事業概要 熊野参詣道伊勢路のうち、三浦峠道の橋崩落箇所へ架橋にかかる設計・施行管理及び橋梁等整備工事。報告書作成。

(11) 史跡等買上げ事業

① 斎宮跡（明和町）〔S54. 3. 27指定〕

事業概要 史跡斎宮跡の公有化（昭和54年度～継続事業）

16年度事業 1,319㎡（5筆）の買上

事業費 40,428千円（国80% 32,342千円、県15% 6,064千円）

② 斎宮跡 先行取得償還（明和町）〔S54. 3. 27指定〕

事業概要 平成12・13・14年度先行取得による公有化にかかる起債の償還

16年度事業 平成12・13・14年度の償還分

事業費 139,351千円（国80%111,479千円、県15% 20,901千円、明和町 6,971千円）

(12) 埋蔵文化財出土遺物保存処理事業

太岡寺古墳ほか（三重県）

事業概要 亀山市太岡寺古墳および鈴鹿市加和良古墳から出土の鉄製品の内、劣化が進みつつあるものについて保存科学的処理を施し、その恒久保存を図る。

16年度事業 鏃4点、刀子4点、琥珀製品（燧玉1点）の保存処理を実施。

事業費 3,515千円（国50% 1,757千円、県50% 1,758千円）

処理受託 財団法人元興寺文化財研究所



(13) 紹介・周知整備整理事業埋蔵文化財保存活用整備事業

16年度事業 三重県埋蔵文化財展において県内遺跡の発掘調査から出土した埋蔵文化財を展示することで文化財保護行政への理解を得ること。  
また、発掘調査によって出土した埋蔵文化財や関連資料を保管公開する施設として利用できるよう県有財産の有効利用を兼ね、現在利用されていない県有施設を改修・整備すること。

事業費 9,000千円（国50% 4,500千円、県50% 4,500千円）

(14) 天然記念物食害対策事業

カモシカ（宮川村、紀伊長島町、海山町、尾鷲市）〔S30. 2. 15指定〕

事業概要 紀伊山地でのカモシカ食害の著しい地域において、保護と食害対策のため保護柵を設置。

総事業費 37,605千円（国2/3 18,350千円、県1/6 6,267千円）

市町村名	事業費 (千円)	箇所数	面積 (ha)	柵総延長 (m)	請負者
宮川村	10,080	3	5.21	2,309	宮川森林組合
紀伊長島町	6,675	5	5.32	2,952	森林組合おわせ
海山町	3,240	3	2.27	1,699	森林組合おわせ
尾鷲市	17,610	11	15.36	7,122	森林組合おわせ
合計	37,605	22	28.16	14,082	

(15) 天然記念物再生事業

ネコギギ（地域を定めず）〔S52. 7. 2指定〕

総事業費 4,000千円（平成16年度～17年度継続事業）

16年度事業費 2,000千円（国50% 1,000千円 県50% 1,000千円）

事業の概要

絶滅に瀕している員弁川水系のネコギギ個体群の再生を図るため、同水系に残存しているネコギギを保護増殖し、増殖個体の再導入を行う。

事業主体 三重県教育委員会

事業体制

委員会 天然記念物ネコギギ保護増殖指導委員会を設置し、保護増殖、再導入の方法について助言を得る

指導委員

名越 誠（三重県文化財保護審議会委員・奈良女子大学名誉教授）

森 誠一（岐阜経済大学 教授）

萱場祐一（独立行政法人 土木研究所 自然共生研究センター センター長）

原田泰志（三重大学生物資源学部 教授）

渡辺勝敏（京都大学大学院 理学研究科 助教授）

保護増殖委託先

志摩マリナランド

指導委員会

平成16年5月20日 三重県立博物館

平成17年2月24日 阿児アリーナ・志摩マリナランド

## 2 県費補助事業（県単独事業分）

### (1) 建造物保存修理事業

- ① 白山比咩神社八幡社須賀ほか保存修理（白山比咩神社・白山町）〔S32. 3. 29指定〕
- |        |                                       |
|--------|---------------------------------------|
| 事業概要   | 八幡社須賀社、祖霊社2棟などの破損化が進行、半解体修理（平成15年度～）。 |
| 16年度事業 | 素屋根設置、解体工事、補足木材・石材調達など。               |
| 事業費    | 14,000千円（県50% 7,000千円）                |
| 調査設計   | 財団法人文化財建造物保存技術協会                      |
| 工事請負   | 株式会社中建築工務店                            |
- ② 経蔵部分修理（寂照寺・伊勢市）〔S27. 3. 13指定〕
- |        |                            |
|--------|----------------------------|
| 事業概要   | 経蔵の破損化が進行し、半解体修理（平成16年度～）。 |
| 16年度事業 | 修理のための調査・全体計画策定。           |
| 事業費    | 3,990千円（県50% 1,995千円）      |
| 調査設計   | 株式会社林廣伸建築事務所               |

### (2) 有形文化財保存修理事業

- 木造阿弥陀如来坐像部分修理（長久寺・大紀町）〔S28. 5. 7指定〕
- |        |                                    |
|--------|------------------------------------|
| 事業概要   | 本体・台座の劣化が進行、矧目解体等のうえ修理（平成16～17年度）。 |
| 16年度事業 | 矧目緊結、漆箔補修、欠損部補修。                   |
| 事業費    | 2,750千円（県50% 1,375千円）              |
| 工事請負   | 財団法人美術院                            |

### (3) 有形文化財保存施設整備事業

- ① 伊奈富神社棟札保存施設整備（伊奈富神社・鈴鹿市）〔S62. 3. 27指定〕
- |        |  |
|--------|--|
| 事業概要   | 昭和37年建設の収蔵庫の老朽化に伴い扉・内装等を改修（平成15～16年度）。 |
| 16年度事業 | 木製内壁設置・換気口設置・網引戸設置・照明設置・燻蒸。工事完了。       |
| 事業費    | 4,181千円（県50% 2,090千円）                  |
| 工事請負   | 大新工業株式会社                               |
| 燻 蒸    | 中部資材株式会社                               |
- ② 木造四天王立像防犯設備（長楽寺・伊賀市）〔S51. 3. 31指定〕
- |      |                            |
|------|----------------------------|
| 事業概要 | 防犯・防火のため、防犯警報・自動火災報知設備を設置。 |
| 事業費  | 380千円（県50% 190千円）          |
| 業務受注 | サクセスイノベーションシステム株式会社        |

### (4) 史跡等保存整備事業

- 大日堂の五百羅漢（菰野町竹成区）〔S42. 2. 10指定〕
- |        |  |
|--------|--|
| 事業概要   | 史跡内に設置された469体の石製羅漢像について、クリーニング・強化材の塗布・破損部分の修復を行う。（平成14年度～22年度） |
| 16年度事業 | 60体の修理作業を行った。  |
| 事業費    | 3,000千円（県50% 1,500千円）  |
| 工事請負   | 株式会社 アクト   |

### (5) 土地買い上げ事業

- 坂本古墳群土地買い上げ（明和町）〔H16. 1. 19指定〕

事業概要 県史跡坂本古墳群の公有化  
16年度事業 438.45㎡（6筆）の買上  
事業費 7,979千円（県50% 3,989千円）

**(6) 斎宮跡体験学習施設維持管理**

いつきのみや歴史体験館・1/10斎宮跡史跡全体模型維持管理費(明和町)

事業費 16,830千円（県 16,339千円）

**(7) 民俗文化財伝承・活用事業**

① 植木神社祇園祭（植木神社祇園祭保存会・伊賀市）〔S54. 3. 23指定〕

事業概要 花太鼓1点修理  
事業費 189千円（県50% 94千円）  
工事請負 安部甚兵衛太鼓店

**(8) 有形民俗文化財保存修理事業**

① 春日神社雨乞願解大絵馬（春日神社・伊賀市）〔H11. 3. 17指定〕

事業概要 春日神社雨乞願解大絵馬のうち、鍵屋の辻仇討図1点の保存修理  
事業費 1,102千円（県50% 551千円）  
工事請負 株式会社 京都科学

② 南納屋町鯨船山車明神丸（南納屋町・四日市市）〔S31. 12. 5指定〕

事業概要 収蔵庫建設  
事業費 5,199千円（県50% 2,599千円）  
工事請負 有限会社 建築工房やま和

**(9) 天然記念物保護増殖事業**

川俣神社のスダジイ樹勢回復(庄野町自治会・鈴鹿市)〔S44. 3. 28指定〕

事業概要 土壌改良、枯れ枝等の除去、切断面の治療。  
事業費 350千円（県50% 175千円）

**3 県費補助事業（国間接補助事業分）**

**(1) 指定文化財管理事業**

木造大日如来坐像ほか燻蒸（蓮光院・津市）〔T4. 3. 26指定〕

事業概要 木造大日如来坐像・木造阿弥陀如来坐像を燻蒸（収蔵庫燻蒸）。  
事業費 243千円（県50% 121千円（内、国1/2））  
請負者 中部資材株式会社

**4 天然記念物ネコギギ保護管理指針策定事業（平成15・16年度継続事業）**

① 事業の目的

平成13・14年度に実施した「天然記念物ネコギギ緊急調査」の結果を基礎資料として、三重県内のネコギギの適正な保護管理のための指針を策定する。

② 事業主体 三重県教育委員会

③ 事業体制

事務局 文化財保護室

委員会 天然記念物ネコギギ保護管理指針策定指導委員会を設置し、指針のとりまとめ等について

て助言を得る。

④ 指導委員

名越 誠（三重県文化財保護審議会委員・奈良女子大学名誉教授）

森 誠一（岐阜経済大学 教授）

萱場祐一（独立行政法人 土木研究所 自然共生研究センター センター長）

原田泰志（三重大学生物資源学部 教授）

渡辺勝敏（京都大学大学院 理学研究科 助教授）

⑤ 指導委員会

天然記念物ネコギギ保護増殖事業指導委員会と同時開催

⑥ 事業期間

平成15年4月1日 ～ 平成17年3月31日

## 5 熊野古道世界遺産登録推進事業

### (1) 事業概要

平成16年度の世界遺産登録に向けて、文化庁および三重・奈良・和歌山の三県、そして関係市町村との連絡調整を行うとともに、学術委員会の開催や古道の整備事業を実施し、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」としての体制づくりを強化した。

事業の推進にあたっては、三県で構成する「世界遺産登録推進三県協議会」が中心となり、世界遺産登録が中国の蘇州で開催された世界遺産委員会において決定（7月7日）した後は、記念イベントの開催や保全活用に向けた取り組みを行った。

### (2) 「紀伊山地の霊場と参詣道」の世界遺産登録

平成16年6月28日から7月7日まで中国・蘇州で開催された第28回世界遺産委員会において7月1日に審議され、7月7日に「世界遺産一覧表」に登録された。世界遺産登録推進三県協議会では、世界遺産委員会での審議状況等リアルタイムの情報収集や質問等へ対応のため、6月28日～7月4日まで4名の職員（三重県からは1名）を派遣した。

### (3) 登録推進及び登録後の事業内容

#### ① 世界遺産登録推進三県協議会

- ・国際シンポジウムでの「世界遺産登録証書」授与

10月19日に、奈良市で開催された国際シンポジウムにおいて、松浦ユネスコ事務局長から「紀伊山地の霊場と参詣道」の世界遺産に登録された資産の登録証書が3県に授与された。

- ・「世界遺産登録記念誌」の発刊

「紀伊山地の霊場と参詣道」が世界遺産に登録されたことをうけて、教育機関への教育資料及び行政資料として配付し、それぞれの資産を理解してもらうことで、今後の保全・管理に資するために作成した。

- ・世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」保存管理計画の策定

ユネスコの世界遺産委員会から、2年以内に提出を求められている「紀伊山地の霊場と参詣道」の保存管理計画を改訂した。当該事業は平成17年度も継続事業として実施する。

- ・世界遺産登録記念プロモーションビデオの作成

世界遺産委員会の要請のより、第28回世界遺産委員会で登録された「紀伊山地の霊場と参詣道」の資産等の紹介を1分程度に編集し提出した。

- ・公式ハンドブックの増刷

平成15年度に作成した公式ハンドブックが好評であり、要望が強かったため一部改訂し2,000部の増刷をおこなった。

- ・「紀伊山地の参詣道ルール」啓発活動
  - 一般公募をし、昨年の「世界遺産登録推進三県協議会」において選定した「紀伊山地の参詣道」ルールを啓発するために、カード、ビデオ、ポスターを作成した。
- ・シンポジウム及び特別展 「祈りの道 ～吉野・熊野・高野の名宝～」の実施
  - 三重県、奈良県、和歌山県、世界遺産登録推進三県協議会ほかとの主催により国際シンポジウムの開催及び特別展を実施
  - 国際シンポジウム
    - 平成16年7月24日（土） NHK大阪ホール 聴講者数：1,200人
  - 特別展
    - 大阪市立美術館（入館者数：196,242人）
      - 平成16年8月19日（火）～9月20日（月・祝）
    - 名古屋市博物館（入館者数：31,805人）
      - 平成16年10月1日（金）～11月3日（水・祝）
    - 世田谷美術館（入館者数：108,359人）
      - 平成16年11月20日（土）～平成17年1月23日（日）
- ・「紀伊山地の霊場と参詣道」ニコスカートを発行
  - 日本信販と提携し、紀伊山地の霊場と参詣道ニコスカートを発行し、利用金額の一部が「世界遺産登録推進三県協議会」に入金されることになり、同資産の保全・管理に資することとなった。
- ・「紀伊山地の霊場と参詣道」シンボルマークの使用届出の受理
  - 「紀伊山地の霊場と参詣道」シンボルマークの使用については、使用届出書の提出を必要としており、世界遺産登録推進三県協議会名での届出受領書を発行している。
  - 平成16年度の届出受領書の発行は26件で、内訳は以下のとおり。
    - 刊行物（公共）：10件      刊行物（旅行パンフレット等）：9件
    - ホームページ等：3件      道路標識等：2件      その他：2件

## ②世界遺産登録に向けた保全活用の取り組み

- ・歴史の道整備活用推進事業
  - 三浦峠道（紀北町紀伊長島区三浦地内）の橋梁等設計及び整備工事
  - ※詳細は、本章の1 県費補助事業（国庫補助事業分）、27頁参照
- ・三重県世界遺産学術調査委員会
  - 第28回世界遺産委員会の結果報告及び保存管理計画の策定等にかかる指導を得るため、学術調査委員会を開催した。

### 〔委員会の体制〕

- 委員長 酒井 一（三重大学人文学部名誉教授）
- 委員 八賀 晋（三重大学人文学部名誉教授・三重県文化財保護審議会委員）
- 委員 高橋 美久二（滋賀県立大学人間文化学部教授）
- 委員 寺口 瑞生（千里金蘭大学人間社会学部助教授）
- 委員 萩原 なつ子（武蔵工業大学環境情報学部助教授）
- 委員 和田 勝彦（四日市市博物館長）
- 委員 高瀬 要一（独立行政法人奈良文化財研究所文化遺産調査部遺跡研究室長）
- 委員 吉田 金好（世界遺産登録推進紀北地域協議会会長）
- 委員 花尻 薫（熊野古道語り部友の会会長）

### 〔委員会の開催日〕

7月23日 県庁教育委員室

## 6 ふるさと文化再興事業

①目的 各地域で培われた伝統文化の活性化を目的とする事業で、各地の祭礼習俗、民俗芸能、伝統工芸技術等の無形の文化財保存団体に対し、「三重県志摩南紀地域伝統文化伝承事業マスタープラン」に定めるところの「拠点内地域」と「分野別地域」とに分け、伝承用の映像記録の作成や祭礼用具等の修理を援助していくものである。

### ②事業内容

〔拠点内地域〕 (志摩南紀地域)

- ・志摩加茂五郷の盆行事 映像記録の作成

援助金 6,400千円

制作会社 有限会社 海プロダクション

指導委員 植木 行宣 (三重県文化財保護審議会委員・前京都学園大学教授)・岡田 照子 (三重県文化財保護審議会委員・岐阜女子大学名誉教授)

- ・志摩立神の盆行事 映像記録の作成

援助金 4,641千円

制作会社 株式会社 CBCクリエイション

指導委員 植木 行宣 (三重県文化財保護審議会委員・前京都学園大学教授)・岡田 照子 (三重県文化財保護審議会委員・岐阜女子大学名誉教授)

- ・一之瀬獅子神楽 用具修理 (天狗面1点)

援助金 64千円

工事請負 株式会社 京都科学

〔分野別地域〕

- ・上野天神祭 用具修理 (楼車1台)

援助金 660千円

工事請負 澤田建築

- ・敢国神社の獅子舞 用具修理 (獅子頭1個)

援助金 686千円

工事請負 井筒

- ・牛蒡祭 用具修理 (弓4張)

援助金 185千円

工事請負 有限会社 鈴木半三郎商店

- ・中納屋町大入道 用具修理事業 (衣装1着)

援助金 510千円

工事請負 株式会社 川島織物

## 7 民間等による助成

民間団体による文化財保護助成事業について、市町村教育委員会の推薦を受けた文化財を推薦し、次の団体が助成を受けた。

- (1) 文化財保護のための事業 (財団法人 文化財保護・芸術研究助成財団)

白山比咩神社 八幡社・須賀社・祖霊社の修理 (白山町) 助成額 1,000千円

- (2) 伝統文化活動支援事業 (財団法人 伝統文化活性化国民協会)

東玉垣保存会 「唐人おどり」の保存伝承活動 (鈴鹿市) 助成額 252千円

- (3) 地域の伝統文化助成 (財団法人 安田生命クオリティオブライフ文化財団)

水沢お諏訪おどり保存会 (四日市市) 助成額 600千円

## IV 文化財の管理・普及

### 1 登録審査

#### (1) 銃砲刀剣類登録審査会

・目的

銃砲刀剣類所持等取締法の定めるところにより、美術品もしくは骨董品として価値のある火縄式銃砲等の古式銃砲又は美術品として価値のある刀剣類を審査のうえ登録する。

・開催期日

4/13 県津庁舎会議室                      5/18 県尾鷲庁舎会議室                      6/15 県鈴鹿庁舎会議室  
7/13 県伊勢庁舎会議室                      10/12 県津庁舎会議室                      12/14 県上野庁舎会議室  
2/15 県松阪庁舎会議室

・新規登録      刀剣類      352件      銃砲類      24件      登録件数累計      50,699件  
・登録証再交付      刀剣類      23件      銃砲類      0件  
・製作承認      刀剣類      0件 (新規内数)

・登録審査委員

福井 款彦 (日本美術刀剣保存協会 三重県副支部長)  
早川 繁一 (日本美術刀剣保存協会 三重県支部長)  
東世古 晃弘 (日本美術刀剣保存協会 三重県支部)  
東 敏平 (日本美術刀剣保存協会 三重県支部)

#### (2) 三重県天然記念物紀州犬登録審査会

・目的

天然記念物紀州犬の保存を図り、その繁殖を助長するため、審査会を経て、保存の必要を認めた紀州犬を優良紀州犬として、県教育委員会に備える紀州犬台帳に登録する。

・日時      平成16年5月16日(日) 8:00~12:00

・場所      御浜町ふれあい交流広場(南牟婁郡御浜町阿田和・道の駅パーク七里御浜北)

・審査員      中野 利久 (日本犬保存会副会長・同顧問審査員)  
                 秦 正武 (日本犬保存会参与審査員・同前三重支部長)  
                 久保 隆 (日本犬保存会審査員・同三重支部長)

・登録日本犬

登録日	番号	犬名	性	所有者住所
H16.9.10	706	熊龍	雄	南牟婁郡御浜町
H16.9.10	707	赤蔵ノ白雲	雄	南牟婁郡鵜殿村
H16.9.10	708	嵐	雄	南牟婁郡御浜町
H16.9.10	709	熊野乃仁稜	雄	鈴鹿市
H16.9.10	710	天城の良	雄	一志郡三雲町
H16.9.10	711	竜馬	雄	南牟婁郡御浜町
H16.9.10	712	美月姫	雌	熊野市
H16.9.10	713	紀伊の優華	雌	北牟婁郡海山町
H16.9.10	714	赤蔵白雲女	雌	南牟婁郡鵜殿村
H16.9.10	715	らん	雌	南牟婁郡御浜町
H16.9.10	716	藤のあや姫	雌	熊野市
H16.9.10	717	秀香	雌	南牟婁郡紀宝町
H16.9.10	718	雪千代	雌	南牟婁郡御浜町
H16.9.10	719	郷の雪	雌	熊野市
H16.9.10	720	一志の晃女	雌	熊野市



H16.9.10	721	楠の千鳥姫	雌	南牟婁郡御浜町
H16.9.10	722	稀代姫	雌	伊勢市
H16.9.10	723	絵里姫	雌	度会郡二見町
H16.9.10	724	白玉	雌	度会郡二見町
H16.9.10	725	恋由姫	雌	度会郡二見町

### (3) 三重県天然記念物日本鶏登録審査会

鳥インフルエンザ流行防止のため審査会を開催せず。

## 2 文化財の管理

### (1) 文化財パトロール

- ・事業の概要 県下における指定文化財及び埋蔵文化財包蔵地の管理、保存状況を把握し、適切な処置を講じて文化財保護に万全を期するために、三重県文化財保護指導委員を任命して巡視活動等を行っている。巡視活動の報告は各教育事務所において毎月とめ、文化財保護チームへ報告されるとともに写しが当該市町村教育委員会に送付され、行政対応を行っている。
- ・巡視報告 各調査員による巡視活動の結果は次掲のA表のとおりである。その中で特に指摘のあったものをB表に示した。種別については「建：建造物」「彫：彫刻」「絵文：絵画文書」「考：考古資料」「有民：有形民俗文化財」「史：史跡」「天：天然記念物」「埋：埋蔵文化財」と略記した。

A：パトロール実施状況一覧

市町村	建	彫	絵文	孝	有民	史	天	埋	計	市町村	建	彫	絵文	孝	有民	史	天	埋	計
桑名市	1					1		11	13	宮川村							7	17	24
多度町							2	7	9	伊勢市	2	2					2		6
長島町									0	玉城町									0
木曾岬町									0	二見町	1						1		2
北勢町*								11	11	小俣町									0
員弁町*								6	6	南勢町							3	1	4
大安町*								9	9	南島町							3	10	13
東員町								3	3	大宮町							2	15	17
藤原町*							2	10	12	紀勢町							1	1	2
四日市市	2						3		5	度会町								11	11
菰野町							3	199	202	御園村									0
楠町									0	大内山村	1								1
朝日町									0	鳥羽市	3						5	15	23
川越町									0	浜島町							1	2	3
鈴鹿市							11	25	36	大王町								1	1
亀山市							10	9	19	志摩町	4						1	5	10
関町	3						5	3	11	阿児町								24	24
津市								25	25	磯部町								4	4
河芸町								2	2	上野市	13			3	3	11	6	18	54
芸濃町						2		51	53	名張市	2						3		5
美里村					3	1		44	48	伊賀町	1						4		5
安濃町					1			95	96	阿山町							2	41	43
久居市		3				1		158	162	島ヶ原村	2							12	14
香良洲町								2	2	大山田村							2	24	26
一志町						1		6	7	青山町	1						5		6
白山町								8	8	尾鷲市			1	3	3	12	9	12	40
嬉野町								6	6	紀伊長島町						5	3	4	12
美杉村	2	1				4		42	49	海山町					1			5	6

三雲町							0	熊野市	2			1	1	14	3	6	27
松阪市	8				2	9	19	御浜町						5	4	2	11
飯南町						4	4	紀宝町							1	2	3
飯高町					3	7	10	紀和町	3					4	1		8
多気町					2		2	鵜殿村								2	2
明和町					1		1										
大台町						21	21										
勢和村							0	合計	51	6	1	7	7	59	120	1007	1258

\* 北勢町、員弁町、大安町、藤原町は合併により平成15年12月1日からいなべ市となった

B：巡視報告で指摘等のあったもの

市町村	文化財の名称	指摘事項
大安町	上小原古墳群	周辺に開発のあとあり
四日市市	御池沼沢植物群落	西部指定地に竹の侵入
四日市市	四日市市旧港湾施設	ゴミだまりあり。風食が進行
四日市市	西阿倉川アイナシ自生地	アイナシ周辺の樹木伐採が必要
菰野町	鎌ヶ岳ブナ原始林	ブナ林沿いの登山道に説明板が必要
菰野町	奥郷浦七ツ塚古墳群	墳丘の西側が崩れつつある
鈴鹿市	川俣神社のスタジイ	樹勢が弱っている
鈴鹿市	愛宕山1号墳	墳丘直下で開発が行われている
亀山市	宗英寺のイチョウ	キツタがからみついて大きくなっている
亀山市	野登山のブナ林	群落内の説明板が不鮮明
関町	鈴鹿山の鏡岩	標柱が腐りかけている
美杉村	石造水船	表面上はもろくなっていないが、風化が進んでいる
美杉村	西山A・B遺跡	周辺で道路建設工事あり。注意が必要
美杉村	庄屋田遺跡	周辺で道路建設工事あり。注意が必要
美杉村	太郎生広垣戸	民間開発により一部消滅の可能性あり
松阪市	古墳時代溝（上川町）	農道拡幅工事周辺で遺物を発見
松阪市	上村遺跡	住宅建設により大部分で壊滅状態
松阪市	杉垣外遺跡	住宅建設により大部分で壊滅状態
飯南町	井尻遺跡	掲示施設に雨漏りあり
大台町	中野遺跡北部	道路工事による掘削あり
大台町	新田古墳群	1基が削られ半壊状態
大台町	神戸北遺跡	東端で側溝工事中
大台町	嶋見谷遺跡	北部で土砂採取の掘削が行われている
伊勢市	鷲嶺の水穴	洞内にゴミが散乱
伊勢市	木造地藏菩薩立像	案内板ない
大宮町	七保のオハツキイチョウ	案内板や説明板がない
度会町	小川郷の火打石	案内板ない
度会町	登り遺跡	道路改良工事により掘削
南勢町	鬼ヶ城暖地性シダ群落	乾燥化が進んでいる
南勢町	細谷暖地性シダ群落	希少なシダが全く見られない
南島町	道方の浮島	アイガモヤコイがはなされ希少な水草がなくなった
南島町	見江島のイワツバメ棲息地	現地への交通手段が無く、現状を確認できない
南島町	ハマナツメ群落	現地への案内板がない

南島町	野見坂の地層褶曲	説明板の位置が不適當
鳥羽市	白浜遺跡	重機により掘削されている
鳥羽市	戸島台場跡	遺構が削平されないような保存策が必要
鳥羽市	獅子頭古墳	穴が空き空洞が見られる
志摩町	白塚貝塚、地蔵貝塚	詳細遺跡分布図の作成が必要
志摩町	ひびじり古墳群	開発のおそれあり
志摩町	布浜古墳群	開発のおそれあり
阿児町	長尾遺跡	道路建設により遺跡の中心部分が損失
磯部町	日和山	駐車場が拡張ともなう掘削が見られる
上野市	常住寺閻魔堂	東側廻縁の床板に割れあり
上野市	旧崇廣堂	小玄関西軒廻りに漏水あり。木部の一部に腐朽あり
上野市	旧三重県第三尋常中学校校舎	扉の木目塗装に剥離あり
上野市	猪田神社本殿	周辺樹木に倒壊のおそれあり
上野市	旧小田小学校本館	太鼓樓屋根より漏水あり。紙張り天井にしみあり
上野市	廃捕陀落寺町石	墓石の周りの五輪塔が損失
名張市	杉谷神社本殿	臺股3箇所欠損。擬宝珠、木口飾金具欠損
名張市	名張藤堂家邸跡	一部土壁が漏水で欠落。正門控え柱貫に蟻害
伊賀町	春日神社拝殿	基礎に割れや歪みあり。
阿山町	服部氏城跡	空堀内にゴミや枯れ木あり、保存体制の整備必要
阿山町	谷出城跡	台風による倒木で遺構が荒れている
阿山町	谷川城跡	畦道が曲輪を削り拡張されている
島ヶ原村	観音提寺本堂	回廊床板に木口腐りあり
大山田村	南出碧跡・井上氏城跡	砂防工事により改変を受けている
紀伊長島町	大島暖地性植物群落	砂浜に外来種のセイヨウオオバコが侵入している
尾鷲市	熊野参詣道 馬越峠道	出水の影響で石畳が不揃いになっている
尾鷲市	矢ノ川陰谷樹叢	標柱が朽ちている
尾鷲市	久木神社樹叢	群落内に歩道が作られている。
海山町	島勝神社樹叢	特有の植物であるピロードムラサキが伐採されている
熊野市	楯ヶ崎	案内板が不鮮明。歩道に大石あり通行しにくい

(三重県文化財保護指導委員)

北勢教育事務所管内	中勢教育事務所管内	松阪教育事務所管内
清水弘之 (大安中)	本堂弘之 (明小)	榎本義讓
渡辺尚登 (桑名高)	浅生悦生 (修成小)	前川嘉宏 (立有田小)
鎌田雅生 (西陵中)	齋藤直樹 (立成小)	増田安生 (飯高西中)
浅尾 悟 (創徳中)	下村純也 (久居西中)	三井博之
川添 護 (桑名高)	東 永司 (久居農林高)	高松隆吉 (自営)
桐生定巳 (四日市市少年自然の家)	大城哲也 (文建協)	松月久和
鈴木伸治 (飯野高)	園田純子 (津市教委)	藤田直信 (嬉野町教委)
嶋村明彦 (関町教委)		
采尺真澄 (高田短期大学)		

<b>南勢志摩教育事務所管内</b> 大西素行 村上喜雄 田村陽一 (宇治山田高) 奥 義次 (度会高) 北畠充生 (大内山小) 橋本 清 (伊勢高) 坂部元宏 岡 與一 松月久和 藤田直信 (嬉野町教委)	<b>上野教育事務所管内</b> 寺岡光三 (森精機製作所) 市田進一 水口昌也 (錦生小) 松月茂明 (日本サンショウウオセンター) 杉澤 学 (奈良女子大文学部附属小) 滝井利彰 (タック設計室) 瀧川和也 (生活部県史編纂G)	<b>尾鷲教育事務所管内</b> 津田雄一郎 (志子小) 山本和彦 (尾鷲高) 田崎通雅 (尾鷲市立中央公民館郷土室) 吉田金好  <b>熊野教育事務所管内</b> 福村直人 (小阪小) 林 伸行 岩本直樹 (成川小学校) 花尻 薫
---	---	--

## (2) 文化財保護にかかる会議

### ① 三重県文化財保護連絡会議・三重県文化財調査員会議

県下における指定文化財及び埋蔵文化財などの保護行政を一層充実させるため、市町村文化財保護行政担当者、各教育事務所文化財担当者、並びに、県文化財調査員との打ち合わせ及び協議を実施した。

地 区	開 催 日 時	場 所
北勢・中勢・伊賀	平成 16 年 6 月 21 日 (月) 13:30~17:00	県鈴鹿庁舎
松阪・南勢志摩	平成 16 年 6 月 22 日 (火) 13:30~17:00	県伊勢庁舎
尾鷲・熊野	平成 16 年 7 月 7 日 (水) 13:30~17:00	県尾鷲庁舎

- ・内 容 平成 16 年度文化財保護事業の概要  
指定文化財に関する事務手続きなどについて  
文化財保護法改正関係  
市町村合併による権限移譲関係  
文化財パトロールの実施について
- ・出席者 市町村教育委員会文化財保護担当者  
各教育事務所文化財担当者  
三重県文化財保護指導委員

### ② オオサンショウウオ保護連絡会議

- ・目 的  
オオサンショウウオの保護管理について県関係部局および関係市町村に周知するとともに、保護管理についての情報を共有する
- ・日 時 平成17年2月22日 (火) 13:30~16:00
- ・場 所 青山公民館 2F中ホール 伊賀市阿保1411
- ・内 容 ①平成16年度オオサンショウウオワーキンググループ (G SWG) 会議からの報告  
②オオサンショウウオ配慮工事箇所の現状について  
③平成16年度オオサンショウウオ生息調査報告
- ・指導委員 松井正文 (京都大学大学院 人間・環境学研究所 教授)  
富田靖男 (元三重県立博物館長)  
松月茂明 (日本サンショウウオセンター 所長)  
清水善吉 (三重県環境部 主幹)

(3) 発掘調査届・通知等

文化財保護法の規定により、埋蔵文化財包蔵地の発掘（土木工事等）に対しては、通知・届出をおこなうことが義務づけられている。平成16年4月から17年3月までに処理を行った当該通知・届出は以下のとおりである。

区分 地域	57条の2										57条の3							57条 1項	58条 の2	計				
	工場	個人住宅	住宅	店舗	その他建物	宅地造成	土地区画整理	土砂採取	水道・ガス	農業関係	その他開発	道路	河川	学校	工場	その他建物	公園造成	水道・ガス	下水道		農業関係	その他開発		
桑名市		20	2		4	2			3			1											8	40
多度町		1													1						1			3
長島町																								0
木曾岬町																								0
東員町																								0
いなべ市		1				2			2															5
四日市市		13	9	1	2	5			4		3	4					4	9	3		1	6	64	
菰野町																								0
楠町																								0
朝日町							4																3	7
川越町																								0
鈴鹿市	1	52	11		9	13	1	1		3	4	6			1				10				21	133
亀山市		1									1												4	6
関町																								0
津市		1	1	1	2				4	1			1	1									1	13
河芸町									1															1
芸濃町																								0
美里村																								0
安濃町				1					14			1											1	17
久居市						1																		1
香良洲町																								0
一志町																								0
白山町		2																						2
嬉野町	1	3	4		1				1	1									1				1	13
美杉村									6			1											3	10
三雲町		7		2	5	12						3												29
松阪市	1	4	1	3	1	6		2															1	19
飯南町																								0
飯高町																								0
多気町																			1					1
明和町					1																			1
大台町																								0
勢和村																								0
宮川村																								0
伊勢市			1									1											2	4
玉城町																								0
二見町						1												1					1	3
小俣町						1						1											1	4
南勢町																								0



					(長者屋敷遺跡)		
7	H16. 5. 13	弥生土器・近世陶器 整理箱 2 箱	H15. 3. 25	鈴鹿市教育 委員会	鈴鹿市西富田 町字矢卸 (長者屋敷遺跡)	個人	鈴鹿市考古博 物館
8	H16. 5. 13	縄文土器 紙整理箱 1 箱	H15. 3. 25	鈴鹿市教育 委員会	鈴鹿市広瀬町字 矢下 (長者屋敷遺跡)	個人	鈴鹿市考古博 物館
9	H16. 5. 13	近世陶器・近世瓦 紙整理箱 3 箱	H15. 3. 25	鈴鹿市教育 委員会	鈴鹿市広瀬町字 矢下 (長者屋敷遺跡)	個人	鈴鹿市考古博 物館
10	H16. 5. 13	近世瓦 紙整理箱 1 箱	H15. 3. 25	鈴鹿市教育 委員会	鈴鹿市広瀬町字 矢下 (長者屋敷遺跡)	個人	鈴鹿市考古博 物館
11	H16. 5. 13	土師器・須恵器 紙整理箱 9 箱	H15. 3. 25	鈴鹿市教育 委員会	鈴鹿市広瀬町字 矢下 (長者屋敷遺跡)	個人	鈴鹿市考古博 物館
12	H16. 5. 13	土師器・須恵器 紙整理箱 8 箱	H15. 3. 25	鈴鹿市教育 委員会	鈴鹿市西富田町 字東起 (長者屋敷遺跡)	個人	鈴鹿市考古博 物館
13	H16. 5. 13	青磁・山茶碗・山皿・近世陶器・ 寛永通宝 紙整理箱 4 箱	H15. 3. 25	鈴鹿市教育 委員会	鈴鹿市西富田町 字東起 (長者屋敷遺跡)	個人	鈴鹿市考古博 物館
14	H16. 5. 13	青磁・近世陶器 紙整理箱 1 箱	H15. 3. 25	鈴鹿市教育 委員会	鈴鹿市西富田町 字東起 (長者屋敷遺跡)	個人	鈴鹿市考古博 物館
15	H16. 5. 13	弥生土器 整理箱 6 箱	H15. 3. 25	鈴鹿市教育 委員会	鈴鹿市西富田町 字東起 (長者屋敷遺跡)	個人	鈴鹿市考古博 物館
16	H16. 5. 13	土師器 紙整理箱 1 箱	H15. 3. 25	鈴鹿市教育 委員会	鈴鹿市西富田町 字東起 (長者屋敷遺跡)	個人	鈴鹿市考古博 物館
17	H16. 5. 17	石鏃・土師器・須恵器・丸瓦・ 平瓦・軒丸瓦・軒平瓦・鬼瓦・ 埴・刻印瓦・緑釉陶器・灰釉陶 器・山茶碗・常滑焼・火葬骨・ 近世陶器・スラグ 整理箱 192 箱	H16. 3. 29	鈴鹿市教育 委員会	鈴鹿市国分字堂 跡 (国史跡伊勢国 分寺跡)	鈴鹿市	鈴鹿市考古博 物館
18	H16. 5. 17	土師器・須恵器・山茶碗 紙整理箱 4 箱	H16. 4. 16	鈴鹿市長	鈴鹿市国府町字 貝下 (三宅神社遺跡)	個人	鈴鹿市考古博 物館
19	H16. 5. 24	須恵器・土師器・金属製品(鉄 鏃) 整理箱 1 箱	H16. 5. 28	四日市市教 育委員会	四日市市下海老 町字大池ノ上・ 四日市市西坂部 町字足洗 (御池古墳群)	企業	四日市市教育 委員会文化財 整理作業所
20	H16. 5. 24	土師器・須恵器・陶器等 整理箱 15 箱	H16. 5. 6	三重県教育 委員会	明和町竹川字古 里 (史跡斎宮跡)	個人	斎宮歴史博物 館
21	H16. 5. 31	弥生土器・須恵器・土師器・山 茶碗 整理箱 5 箱	H16. 5. 14	鈴鹿市長	鈴鹿市国府町 字富士 (平野遺跡)	個人	鈴鹿市考古博 物館

22	H16. 5. 31	陶器 整理箱 1 箱	H16. 1. 9	美杉村教育 委員会	一志郡美杉村下 之川字ツツロ (伝塚原ト伝屋 敷跡)	美杉村	美杉村教育委 員会
23	H16. 5. 31	土師器・陶器等 整理箱 4 箱	H15. 10. 27	美杉村教育 委員会	一志郡美杉村 下多氣字上村 (多氣北畠氏 遺跡小田地区)	美杉村	美杉村教育委 員会
24	H16. 5. 31	土師器・陶器等 整理箱 19 箱	H16. 2. 12	美杉村教育 委員会	一志郡美杉村 下多氣字六田 (多氣北畠氏 遺跡六田館跡)	美杉村	美杉村教育委 員会
25	H16. 6. 8	石鏃・須恵器甕・土師器皿・土 師器碗・土師器小型壺・黒色土 器碗・陶器播鉢・陶器天目台・ 瓦質土器火舎・瓦製品他 整理箱 14 箱	H15. 6. 5	上野市教育 委員会	上野市長田字 十王下 (十王下遺跡)	上野市	上野市教育委 員会埋蔵文化 財整理所
26	H16. 6. 8	土器・陶器・磁器・瓦 整理箱 200 箱	H15. 9. 1	上野市教育 委員会	上野市丸之内 (国史跡上野 城跡)	上野市	上野市教育委 員会埋蔵文化 財整理所
27	H16. 6. 18	土師器・弥生土器・黒色土器等 整理箱 4 箱	H3. 11. 5	上野市教育 委員会	上野市市部字 森脇 (森脇遺跡) 上野市佐那具 字城田 (城田遺跡)	個人	上野市教育委 員会埋蔵文化 財整理所
28	H16. 6. 18	土師器・縄文土器・黒色土器等 整理箱 10 箱	H5. 7. 30	上野市教育 委員会	上野市佐那具 町字高野 (高野遺跡)	企業	上野市教育委 員会埋蔵文化 財整理所
29	H16. 6. 18	土師器・須恵器・石器等 整理箱 3 箱	H11. 6. 2	上野市教育 委員会	上野市比土字 中谷 (中谷 1 号墳) 上野市比土字 中谷 (中谷遺跡)	上野市	上野市教育委 員会埋蔵文化 財整理所
30	H16. 6. 18	土師器・須恵器・磁器等 整理箱 8 箱	H13. 2. 5	上野市教育 委員会	上野市上ノ庄 (出口遺跡)	個人	上野市教育委 員会埋蔵文化 財整理所
31	H16. 6. 18	弥生土器・土師器・須恵器等 整理箱 50 箱	H13. 2. 26	上野市教育 委員会	上野市千歳字 下水 (宮ノ森遺跡)	個人	上野市教育委 員会埋蔵文化 財整理所
32	H16. 6. 18	土師器・須恵器・黒色土器等 整理箱 11 箱	H13. 12. 17	上野市教育 委員会	上野市西明寺 (西明寺遺跡)	個人	上野市教育委 員会埋蔵文化 財整理所
33	H16. 6. 25	土師器・陶器等 整理箱 22 箱	H16. 5. 31	三雲町教育 委員会	一志郡三雲町 大字肥留 (小野江・甚目 遺跡)	個人	三雲町教育委 員会
34	H16. 6. 25	土師器・陶器等 整理箱 190 箱	H16. 3. 31	美杉村教育 委員会	一志郡美杉村 上多氣字馬場 (多氣北畠氏 遺跡北畠氏館 跡)	北畠神社	美杉村教育委 員会
35	H16. 7. 14	土師器・山茶碗・瓦等 整理箱 30 箱	H16. 6. 22	鈴鹿市長	鈴鹿市小田町 (宮上道遺跡)	鈴鹿市	鈴鹿市考古博 物館



36	H16. 7. 26	土師器・須恵器・陶器等 整理箱 150 箱	H16. 7. 14	三重県教育 委員会	多気郡明和町 斎宮字柳原 (史跡斎宮跡)	明和町	斎宮歴史博物 館
37	H16. 8. 9	土師器・須恵器等 整理箱 2 箱	H16. 8. 4	三重県教育 委員会	多気郡明和町 斎宮字広頭 (史跡斎宮跡)	個人	斎宮歴史博物 館
38	H16. 8. 9	土師器・陶器等 整理箱 1 箱	H16. 8. 4	三重県教育 委員会	多気郡明和町 斎宮・竹川 (史跡斎宮跡)	明和町	斎宮歴史博物 館
39	H16. 8. 9	土師器・須恵器・陶器等 整理箱 13 箱	H16. 8. 4	三重県教育 委員会	多気郡明和町 斎宮字出在家 (史跡斎宮跡)	個人	斎宮歴史博物 館
40	H16. 8. 24	土師器・陶器等 整理箱 3 箱	H16. 8. 10	三重県教育 委員会	多気郡明和町 斎宮字西前沖 (史跡斎宮跡)	個人	斎宮歴史博物 館
41	H16. 8. 24	土師器・陶器等 整理箱 3 箱	H16. 8. 10	三重県教育 委員会	多気郡明和町 斎宮 (史跡斎宮跡)	個人	斎宮歴史博物 館
42	H16. 8. 24	土師器等 整理箱 1 箱	H16. 8. 10	三重県教育 委員会	多気郡明和町 斎宮字東裏 (史跡斎宮跡)	個人	斎宮歴史博物 館
43	H16. 8. 24	土師器等 整理箱 1 箱	H16. 8. 10	三重県教育 委員会	多気郡明和町 (史跡斎宮跡)	個人	斎宮歴史博物 館
44	H16. 8. 24	土師器等 整理箱 2 箱	H16. 8. 10	三重県教育 委員会	多気郡明和町 (史跡斎宮跡)	個人	斎宮歴史博物 館
45	H16. 8. 24	土師器・陶器等 整理箱 2 箱	H16. 8. 10	三重県教育 委員会	多気郡明和町 斎宮字楽殿 (史跡斎宮跡)	個人	斎宮歴史博物 館
46	H16. 8. 24	土師器・陶器等 整理箱 2 箱	H16. 8. 10	三重県教育 委員会	多気郡明和町 斎宮 (史跡斎宮跡)	個人	斎宮歴史博物 館
47	H16. 8. 24	土師器・陶器等 整理箱 18 箱	H16. 8. 10	三重県教育 委員会	多気郡明和町 竹川 (史跡斎宮跡)	個人	斎宮歴史博物 館
48	H16. 8. 24	土師器・陶器等 整理箱 1 箱	H16. 8. 10	三重県教育 委員会	多気郡明和町 竹川字中垣内 (史跡斎宮跡)	個人	斎宮歴史博物 館
49	H16. 8. 24	土師器・陶器等 整理箱 3 箱	H16. 8. 10	三重県教育 委員会	多気郡明和町 斎宮字中西 (史跡斎宮跡)	個人	斎宮歴史博物 館
50	H16. 8. 24	須恵器・土師器等 整理箱 54 箱	H16. 8. 11	三重県教育 委員会	鳥羽市答志町 字大畑 (大畑遺跡)	三重県	三重県埋蔵文 化財センター
51	H16. 8. 30	土師器・山茶碗・陶器・磁器・ 木製品等 整理箱 10 箱	H16. 7. 23	三重県教育 委員会	亀山市三寺町 地藏前 (地藏前遺跡)	三寺土地改 良区	三重県埋蔵文 化財センター
52	H16. 8. 30	弥生土器・土師器・須恵器・平 瓦・丸瓦・山茶碗・山皿・羽釜・ 常滑甕・近世陶器・砥石・石刀 整理箱 75 箱	H16. 7. 31	鈴鹿市長	鈴鹿市平田本 町 1 丁目 (平田遺跡)	企業	鈴鹿市考古博 物館

53	H16. 8. 30	土師器・陶器等 整理箱 7 箱	H15. 2. 7	美杉村教育 委員会	一志郡美杉村 下多気上村 (多気北畠氏 遺跡小田地区)	個人	美杉村教育委 員会
54	H16. 9. 1	弥生土器 整理箱 12 箱	H15. 7. 1 ~ H15. 10. 8	玉城町教育 委員会	度会郡玉城町 妙法寺 (田丸道遺跡)	玉城町	玉城町教育委 員会
55	H16. 9. 1	土師器・陶磁器・金属器等 整理箱 12 箱	H16. 8. 12	三重県教育 委員会	志摩郡磯部町 (浄土遺跡)	三重県	三重県埋蔵文 化財センター
56	H16. 9. 10	土師器・陶器・木製品等 整理箱 33 箱	H16. 9. 7	三重県教育 委員会	津市野田字里 前 (里前遺跡)	三重県	三重県埋蔵文 化財センター
57	H16. 9. 13	土師器・陶器・木製品・動物遺 体 整理箱 1 箱	H16. 8. 19	四日市市教 育委員会	四日市市茂福 (茂福城跡)	個人	四日市市教育 委員会
58	H16. 9. 17	土師器・須恵器・山茶碗・瓦・ 古式土師器・木製品等 整理箱 39 箱	H16. 9. 6	三重県教育 委員会	津市南河路 (替田遺跡)	三重県	三重県埋蔵文 化財センター
59	H16. 10. 15	土師器 紙整理箱 2 箱	H16. 9. 14	鈴鹿市長	鈴鹿市竹野一 丁目 (竹野一丁目遺 跡)	個人	鈴鹿市考古博 物館
60	H16. 10. 15	弥生土器・土師器・須恵器等 整理箱 13 箱	H16. 9. 16	嬉野町教育 委員会	一志郡嬉野町 川北 (柏木遺跡)	国(国土交通 省)	嬉野町教育委 員会
61	H16. 11. 22	土師器・瓦・山茶碗・天目茶碗・ 近世瓦・近世陶器 整理箱 4 箱	H16. 10. 18	鈴鹿市長	鈴鹿市平田本 町一丁目 (平田遺跡)	個人	鈴鹿市考古博 物館
62	H16. 11. 22	土師器・山茶碗・天目茶碗・近 世陶器 整理箱 1 箱	H16. 10. 18	鈴鹿市長	鈴鹿市平田本 町一丁目 (平田遺跡)	個人	鈴鹿市考古博 物館
63	H16. 11. 22	弥生土器・土師器・須恵器・瓦・ 山茶碗 整理箱 5 箱	H16. 10. 18	鈴鹿市長	鈴鹿市平田本 町一丁目 (平田遺跡)	個人	鈴鹿市考古博 物館
64	H16. 11. 22	土師器・須恵器 整理箱 28 箱	H16. 9. 14	鈴鹿市長	鈴鹿市木田町 字里 (里遺跡)	個人	鈴鹿市考古博 物館
65	H16. 11. 22	弥生土器 整理箱 1 箱	H16. 9. 27	鈴鹿市長	鈴鹿市矢橋三 丁目 (須賀遺跡)	個人	鈴鹿市考古博 物館
66	H16. 10. 8	土師器・須恵器・石器等 整理箱 6 箱	H16. 9. 21	三重県教育 委員会	多気郡多気町 土羽字総戸 (平林東遺跡)	三重県	三重県埋蔵文 化財センター
67	H16. 11. 25	土師器・須恵器・陶器等 整理箱 49 箱	H16. 11. 17	三重県教育 委員会	多気郡明和町 竹川字中垣内 (史跡斎宮跡)	個人	斎宮歴史博物 館
68	H16. 12. 1	土師器・山茶碗・輸入陶磁器等 整理箱 1 箱	H16. 11. 5	四日市市教 育委員会	四日市市南い かるが町 (大膳寺跡)	個人	四日市市教育 委員会
69	H16. 12. 1	弥生土器 整理箱 1 箱	H16. 11. 4	四日市市教 育委員会	四日市市大矢 知町字雲天 (雲天遺跡)	四日市市	四日市市教育 委員会

70	H16.12.21	土師器・須恵器・瓦器・黒色土器・陶器・磁器等 整理箱 42 箱	H16.11.30	三重県教育委員会	伊賀市上郡 (三石代遺跡)	三重県	三重県埋蔵文化財センター
71	H16.12.28	土師器・陶磁器等 整理箱 33 箱	H16.12.24	三重県教育委員会	松阪市茅原町 字中田 (下茅原遺跡)	茅広江土地改良区	三重県埋蔵文化財センター
72	H16.12.28	土師器・瓦 整理箱 6 箱	H16.12.1	鈴鹿市長	鈴鹿市広瀬町 (長者屋敷遺跡)	個人	鈴鹿市考古博物館
73	H16.12.28	須恵器・土師器・山茶碗 整理箱 2 箱	H16.12.6	鈴鹿市長	鈴鹿市国府町 字長之城 (国府城跡)	個人	鈴鹿市考古博物館
74	H16.12.28	土師器・須恵器等 整理箱 10 箱	H16.11.29	小俣町長	度会郡小俣町 本町	小俣町	小俣町
75	H17.1.19	土師器・須恵器・山茶碗等 整理箱 42.5 箱	H17.1.13	三重県教育委員会	松阪市豊原町 (琵琶垣内遺跡)	三重県	三重県埋蔵文化財センター
76	H17.1.19	弥生土器・土師器・須恵器等 整理箱 17 箱	H17.1.13	三重県教育委員会	多気郡明和町 金剛坂 (織糸遺跡)	三重県	三重県埋蔵文化財センター
77	H17.1.21	弥生土器・土師器・陶器等 整理箱 78 箱	H17.1.17	三重県教育委員会	松阪市舞出町 (舞出北遺跡)	国(国土交通省)	三重県埋蔵文化財センター
78	H17.1.31	土師器・須恵器・陶器・磁器・ 金属製品・木製品 整理箱 5 箱	H16.12.15	四日市市教育委員会	四日市市城東町・城西町 (赤堀城跡)	四日市市	四日市市教育委員会
79	H17.2.9	弥生土器・土師器・須恵器など 整理箱 37 箱	H16.12.28	亀山市教育委員会	亀山市山下町 於登志 (於登志遺跡)	国(国土交通省)	亀山市教育委員会文化財整理所
80	H17.2.9	土師器・瓦 整理箱 5 箱	H17.1.6	鈴鹿市長	鈴鹿市国府町 (三宅神社西遺跡)	個人	鈴鹿市考古博物館
81	H17.2.9	土師器・須恵器 整理箱 1 箱	H17.1.6	鈴鹿市長	鈴鹿市平田本町一丁目 (平田遺跡)	個人	鈴鹿市考古博物館
82	H17.2.9	土師器・須恵器 整理箱 1 箱	H17.1.6	鈴鹿市長	鈴鹿市平田本町一丁目 (平田遺跡)	個人	鈴鹿市考古博物館
83	H17.2.16	土師器・須恵器・金属製品 整理箱 19 箱 木製品 15 箱	H17.1.31	三重県教育委員会	伊賀市岡田字向 (岡田向遺跡)	三重県	三重県埋蔵文化財センター
84	H17.2.16	須恵器・陶器・五輪塔・鉄製品 整理箱 11 箱	H17.1.31	三重県教育委員会	伊賀市柏尾字中森 (本田氏館跡)	三重県	三重県埋蔵文化財センター
85	H17.2.24	(有井遺跡) 土師器・須恵器・瓦器・鉄製品等 整理箱 29 箱 (西明寺三反田遺跡) 土師器・瓦器・青磁等 整理箱 23 箱 (服部氏館跡) 土師器・瓦等 整理箱 1 箱	H17.2.1	三重県教育委員会	伊賀市西明寺 伊賀市荒木	中瀬川土地改良区理事長	三重県埋蔵文化財センター

86	H17. 3. 14	弥生土器等 整理箱 201 箱	H17. 3. 8	三重県教育 委員会	松阪市上川町 字村竹・字コノ (村竹・コノ遺 跡)	国土交通省	三重県埋蔵文 化財センター
87	H17. 2. 28	土師器・陶器等 整理箱 7 箱	H16. 12. 10	美杉村教育 委員会	一志郡美杉村 上多気字六田 (多気北畠氏 遺跡上多気六 田地区・六田館 跡)	個人	美杉村教育委 員会
88	H17. 3. 29	弥生土器・古式土師器・土師 器・須恵器・瓦・銅鏃等 整理箱 125 箱	H17. 3. 25	三重県教育 委員会	松阪市肥留町 (西肥留遺跡)	三重県	三重県埋蔵文 化財センター
89	H17. 3. 31	縄文土器・山茶碗・石器・五輪 塔等 整理箱 2 箱	H17. 3. 30	三重県教育 委員会	松阪市広瀬町 字スブクリ (スブクリ遺 跡)	茅広江土地 改良区	三重県埋蔵文 化財センター
90	H17. 3. 31	土師器等 整理箱 1 箱	H17. 3. 25	三重県教育 委員会	多気郡明和町 斎宮字牛葉 (史跡斎宮跡)	個人	斎宮歴史博物 館

(5) 出土文化財の譲与

No.	申請日	申請者	物件名	発見場所	発見日	保管場所
1	H16. 4. 14	安濃町教 育委員会	縄文土器・土師器・須恵器・山茶 碗・陶器 整理箱 7 箱	安芸郡安濃町 (山ノ下 B3 号墳)	H13. 11. 27	安濃町教育委員会
2	H15. 4. 14	安濃町教 育委員会	埴輪・土師器・須恵器 整理箱 10 箱	安芸郡安濃町 (谷古墳)	H13. 7. 25	安濃町教育委員会
3	H15. 5. 6	上野市教 育委員会	須恵器杯・杯蓋・甕・壺・円面硯・ 土馬・陶棺・宮殿型陶製品 整理箱 1200 箱	上野市佐那具町 (御墓山竊跡)	H13. 5. 31	上野市教育委員会
4	H15. 5. 6	上野市教 育委員会	土器・陶器・磁器・軒丸瓦・軒平 瓦・丸瓦・平瓦・石硯・砥石・銭 貨 整理箱 42 箱	上野市丸之内 (上野城跡)	H13. 10. 1	上野市教育委員会
5	H15. 5. 6	上野市教 育委員会	土器・陶器・磁器・平瓦 整理箱 5 箱	上野市丸之内 (上野城跡)	H13. 11. 9	上野市教育委員会
6	H15. 5. 6	上野市教 育委員会	経石・経本・土師器皿 整理箱 16 箱	上野市服部町 (法華経塔)	H13. 10. 22	上野市教育委員会
7	H15. 8. 11	鈴鹿市教 育委員会	弥生土器 整理箱 6 箱	鈴鹿市須賀 1 丁目 (須賀遺跡)	H14. 9. 25	鈴鹿市考古博物館
8	H16. 2. 25	阿児町教 育委員会	石斧・石鏃・磨石・敲石・凹石・ 縄文土器・山茶碗等 整理箱 18 箱	志摩郡阿児町神明 (長尾遺跡)	H14. 2. 19	阿児町教育委員会
9	H15. 10. 24	四日市市 教育委員 会	縄文土器・弥生土器・土師器・須 恵器・灰釉陶器・緑釉陶器・陶器・ 石製品・鉄製品・木製品 整理箱 800 箱	四日市市大矢知町 (久留倍遺跡)	H15. 1. 20	四日市市教育委員 会

### 3 国・県指定文化財の現状変更等（平成16年4月1日から平成17年3月31日まで）

#### (1) 国指定文化財現状変更等

##### ① 国指定史跡及び名勝等現状変更

（\*印は県市の法定受託事務等による許可）

件名	所有者	申請者	申請日	許可日	完了日	変更理由
上野城跡	財務省 ほか	市長	H16.4.30	H16.6.18	H17.3.30	整備に伴う発掘調査
		伊賀の蔵びらき事業推進委員会	H16.5.10	H16.5.10*	H16.5.18	ステージ仮設
伊勢国分寺跡	鈴鹿市	市長	H16.6.4	H16.7.23	H17.3.31	整備に伴う発掘調査
天白遺跡	嬉野町	町教育長	H16.6.22	H16.8.20		整備に伴う発掘調査
熊野参詣道	海山町	町長	H16.8.9	H16.10.15		標柱設置
諸戸氏庭園	(財)諸戸会	(財)諸戸会 理事長	H16.8.17	H16.9.24	H16.11.15	環境整備(碎石敷設)
上野城跡	上野市	市長	H16.9.16	H16.10.15		俳聖殿屋根葺き替え
熊野参詣道	紀伊長島町	町長	H16.10.29	H16.11.26		補修工事(路肩の復旧)
赤木城跡及び田平子峠刑場跡	紀和町	町長	H17.1.11	H17.2.2		遊歩道手摺設置

##### ② 国指定史跡齋宮跡にかかる現状変更

申請内容	件数	備考
個人・民間企業などによる申請	38件	内、法定受託事務等による許可 10件
公共機関等による地域環境整備に伴う申請	9件	内、法定受託事務等による許可 0件
史跡環境整備及び維持管理等に伴う申請	1件	内、法定受託事務等による許可 0件
計画的発掘調査のための申請	2件	内、国庫補助金による計画発掘調査 2件
計	50件	

##### ③ 国指定天然記念物現状変更

（\*印は県等の法定受託事務等による許可）

件名	所有者 管理者	申請者	申請日	許可日	完了日	変更理由
熊野の鬼ヶ城 附 獅子巖	熊野市	七里御浜鯉のぼりの会	H16.3.10	H16.3.10* (熊野市許可)	H16.6.2	鯉のぼり用ロープと横断幕の一時設置
		熊野市長	H16.7.16	H16.7.21* (熊野市許可)	H16.10.2	花火用筒等の一時的な設置
大島暖地性植物群落	紀伊長島町	(個人)	H16.3.3	H16.4.16	H16.5.25	陸貝採取
カモシカ		日本カモシカセンター	H16.10.11	H16.10.15*	—	動物園間の譲り受け
オオサンショウウオ		川上ダム建設所所長	H16.3.31	H16.5.21	—	生態調査
		木津川上流河川事務所所長	H16.6.29	H16.7.23	—	生態調査

		伊賀南部環境衛生組合	H16. 7. 14	H16. 7. 27*		生息状況調査
		三重県知事	H16. 7. 29	H16. 9. 1*	—	生息状況調査
		三重県知事	H16. 10. 7	H16. 11. 19	—	工事に伴う一時捕獲及び移動
ネコギギ		三重県知事	H16. 4. 16	H16. 6. 18		工事に伴う一時捕獲及び移動
		南勢志摩県民局農林商工部長	H16. 6. 18	H16. 7. 16	H17. 3. 18	工事に伴う試料採取
		日本道路公団桑名管理事務所長	H16. 6. 29	H16. 7. 5 * (鈴鹿市許可) H16. 7. 16* (亀山市許可)	H16. 12. 28	生息状況調査
		三重県知事	H16. 7. 12	H16. 7. 20*	H17. 1. 31	生息状況調査
		三重県知事	H16. 6. 29	H16. 9. 17		工事に伴う一時捕獲及び移動
		三重県知事	H16. 8. 11	H16. 8. 19* (伊勢市許可)	H16. 10. 29	生息状況調査
		三重県知事	H16. 8. 12	H16. 9. 17		工事に伴う一時捕獲及び移動
		三重県知事	H16. 8. 2	H16. 8. 20	H17. 3. 16	生息状況調査
		三重県知事	H16. 9. 16	H16. 9. 21* (亀山市許可)		生息状況調査
		三重県知事	H16. 9. 7	H16. 10. 29	—	工事に伴う一時捕獲及び移動
		三重県知事	H16. 10. 15	H16. 11. 26		工事に伴う一時捕獲及び移動
		大内山村長	H16. 11. 30	H17. 1. 7	—	工事に伴う一時捕獲及び移動
		三重県知事	H16. 12. 21	H17. 1. 21	—	工事に伴う一時捕獲及び移動
		三重県知事	H17. 1. 12	H17. 3. 18	—	工事に伴う一時捕獲及び移動
		三重県知事	H17. 2. 10	H17. 3. 30	—	工事に伴う一時捕獲及び移動
		三重県知事	H17. 3. 4	H17. 3. 30	—	工事に伴う一時捕獲及び移動
		三重県知事	H17. 3. 22	—	—	工事に伴う一時捕獲及び移動

④ 重要文化財の現状変更

件名	所有者	申請者	申請日	許可日	完了日	変更理由
旧永島家襖絵	三重県	県教育長	H17. 2. 9	H17. 3. 22		国補事業による保存修理

⑤ 重要文化財修理届

件名	所有者	届出日	修理期間	修理内容
旧諸戸家住宅	桑名市	H16. 6. 30	H16. 10 中旬～H16. 12 中旬	和館壁補修、洋館窓修理ほか
渋川春海天文関係資料	神宮	H17. 1. 4	H17. 2. 4～H17. 5. 4	天球儀・地球儀の架台など修理・保管箱新調

⑥ 国指定天然記念物滅失・き損届

件名	届出者	届出日	滅失・き損日	滅失・き損内容
大杉谷	宮川村教委	H17.3.18	H16.9.28-29	台風21号による土砂の崩落や堆積
カモシカ	いなべ市教委	H17.3.28	H17.3.27以前	登山道脇でカモシカ通常調査員がほぼ白骨化した個体を発見。
	紀北県民局生活森林環境部長	H16.6.7	H16.6.2	海山町と宮川村の町村堺付近の林道上で、負傷したカモシカ幼獣を保護、その後死亡。
	熊野市教委	H16.6.21	H16.5.以前	林道脇で通行人がほぼ白骨化した個体を発見。
	宮川村教委	H16.7.14	H16.7.9	県道脇で山小屋管理人が負傷したカモシカの幼獣をを発見。保護後死亡

⑦ 国指定史跡及び名勝等滅失・き損届

件名	所有管理者	届出日	き損日	き損内容
諸戸氏庭園	(財) 諸戸会	H16.7.9	H16.6.21	台風6号による倒木
赤木城跡及び田平子峠刑場跡	紀和町ほか	H16.8.9	H16.7.31	台風10号による倒木と土砂流出
宝塚古墳	松阪市	H16.10.5	H16.9.30	台風21号による墳丘園路崩落
熊野参詣道	紀伊長島町	H16.10.15	H16.9.29	台風21号による参詣道の路肩崩落及び土砂の堆積
宝塚古墳	松阪市	H16.10.26	H16.10.20	台風23号による墳丘園路崩落
熊野参詣道	御浜町	H16.11.1	H16.9.29	台風21号による参詣道路肩の石垣崩落と排水溝の崩壊
諸戸氏庭園	(財) 諸戸会	H16.11.15	H16.10.21	台風23号による倒木危険木の撤去
熊野参詣道	海山町	H16.11.30	H16.9.29	台風21号による参詣道の石畳破損と路肩崩落
熊野参詣道	御浜町	H17.2.2	H17.1.7	歴史の道石柱の文字(浮き彫り)の欠損

⑧ 国指定史跡名勝所有者変更届

件名	新所有者	変更日	届出日	受理日	変更理由
城之越遺跡	伊賀市	H16.11.1	H16.11.1	H16.11.1	市町村合併による
御墓山古墳					
旧崇廣堂					
廃補陀落寺町石					
上野城跡					

⑨ 重要文化財き損届

件名	所有者	届出日	き損日	き損内容
旧諸戸家住宅	桑名市	H16.6.30	H16.6.21	台風6号による洋館屋根スレート一部破損・塔屋クラック、和館縦樋破損
諸戸家住宅	(財) 諸戸会	H16.7.9	H16.6.21	台風6号による主屋屋根瓦一部破損、玉突場出入口庇欠落、広間下屋庇雨漏りなど
諸戸家住宅	(財) 諸戸会	H16.11.15	H16.10.20	台風等により主屋南面、西面窓の黒漆喰壁が一部剥落落下

## ⑩ 登録有形文化財登録抹消

件名	所有者	登録抹消日	通知日	抹消理由
賓日館御殿の間棟、 広間棟、土蔵	二見町	H16. 3. 17 (県指定日)	H16. 5. 7	三重県指定有形文化財に指定のため

## ⑪ 重要文化財所有者変更届

件名	旧所有者	新所有者	変更日	届出日	受理日	変更理由
更科紀行	(個人)	(個人)	H16. 4. 30	H16. 6. 9	H16. 7. 7	相続

## ⑫ 登録有形文化財所有者変更届

件名	旧所有者	新所有者	変更日	届出日	受理日	変更理由
三重大学三翠 会館、レーモン ドホール	国	国立大学法 人三重大学	H16. 4. 1	H16. 4. 1	H16. 8. 24	国立大学法人法に よる組織移行
上野市上水道 水源地送水機 関室	上野市	伊賀市	H16. 11. 1	H16. 11. 1	H16. 12. 20	市町村合併による

## ⑬ 重要文化財所在場所変更届 (永年)

件名	所有者	変更所在場所	届出日	変更期間	変更理由
木造阿弥陀如来立像	慈恩寺	慈恩寺	H17. 2. 17	H17. 3. 9～	本堂改修が終了し 亀山市歴史博物館 から、元の場所に復 す

## ⑭ 重要文化財所在場所変更届 (元の所在場所に復する場合)

件名	所有者	変更所在場所	届出日	変更期間	変更理由
更科紀行	(個人)	芭蕉翁記念館	H16. 7. 26	H16. 9. 30 ～10. 5	所有者公開
木造慈恵大師坐像	観音寺	四日市市立博 物館	H16. 10. 1	H16. 10. 28 ～ 12. 31	収蔵庫改修のため 一時変更

## ⑮ 重要文化財 (県内所在) 公開 (国許可による)

件名	所有者	公開場所	公開期間	公開理由
木造阿弥陀如来立像、 像内納入文書	善教寺	世田谷美術館	H16. 11. 20～ H17. 1. 23	「祈りの道 吉野・熊野・高野の 名宝」展に出展のため

## ⑯ 重要文化財公開許可申請 (県内施設、国許可による)

件名	所有者	申請者	申請日	許可日	公開期間	公開理由
序の舞 上村松園筆	東京芸術大 学	三重県立美 術館	H16. 3. 14	H16. 3. 31	H16. 4. 14～ H16. 5. 5	県美「上村松園 展」に出展のため
藤堂高虎像 附同夫人像	四天王寺	三重県立美 術館	H16. 7. 14	H16. 8. 2	H16. 9. 11～ H16. 10. 11	県美ほか「まつ り・祭・津まつり 展」に出展のため



⑰ 重要文化財（県内所在）公開届（県内公開承認施設による）

件名	所有者	届出者	届出日	公開期間	公開理由
本居宣長稿本並関係資料	松阪市	四日市市立博物館	H17. 1. 27	H16. 11. 16～ H17. 1. 10	「21世紀の本居宣長」へ出展のため
銅鏡	多度大社				

⑱ 国指定文化財の勧告・承認出品

件名	所有管理者	出品施設	出品期間	出品区分
紙本墨書勸進帳	大福田寺	独立行政法人 奈良国立博物館	H16. 4. 1～ H17. 3. 31	国による出品承認
絹本着色釈迦八道成道図				国による出品勧告
絹本着色聖徳太子像	四天王寺	大阪市立美術館	H16. 4. 1～ H17. 3. 31	国による出品承認
絹本着色藤堂高虎像		独立行政法人 京都国立博物館		国による出品勧告
絹本着色聖徳太子勝鬘経講讃図	西来寺	独立行政法人 京都国立博物館	H16. 4. 1～ H17. 3. 31	国による出品勧告
伊勢国朝熊山経ヶ峰経塚出土品の内4点	金剛証寺	独立行政法人 奈良国立博物館	H16. 4. 1～ H17. 3. 31	国による出品勧告

(2) 県指定文化財現状変更等

① 県指定史跡及び名勝等現状変更

件名	所有管理者	申請者	申請日	許可日	完了日	変更理由
霊山山頂遺跡	宗教法人 霊山寺	町教育長	H16. 4. 14	H16. 4. 30	H16. 5. 24	階段設置等
叢虫庵	伊賀市	上野市長	H16. 9. 10	H16. 10. 28	H17. 1. 4	溝腐病のスギの伐採（1本）
松阪城跡	松阪市	松阪市長	H16. 10. 27	H16. 11. 2		切岸崩落防止

② 県指定天然記念物現状変更

件名	所有管理者	申請者	申請日	許可日	完了日	変更理由
石薬師の蒲ザクラ	大木神社	大木神社宮司	H16. 2. 13	H16. 2. 23	H16. 4. 9	樹勢回復
蓮のムシトリスミレ群落	飯盛生産森林組合	環境森林部長	H16. 5. 13	H16. 5. 18	—	増殖試験のための採取
奥山愛宕神社のブナ原生林	奥山愛宕神社	環境森林部長	H16. 5. 13	H16. 5. 17	—	標本採取等
和具大島暖地性砂防植物群落	八雲神社	環境森林部長	H16. 6. 1	H16. 6. 2	—	標本採取等
		環境省自然環境局 近畿地区自然保護事務所長	H16. 6. 17	H16. 6. 29	—	移入種除去および生物調査
鈴島暖地性植物群落	紀伊長島町	環境森林部長	H16. 4. 7	H16. 4. 14	—	標本採取等
		紀伊長島町立三浦公民館長	H16. 5. 27	H16. 6. 2		調査及び観察
多度のイヌナシ自生地	(個人)	桑名市教育委員会	H17. 1. 19	H17. 1. 24		光環境回復のための周辺樹木等伐採

川俣神社のスタジイ	川俣神社	庄野町自治会	H17. 2. 14	H17. 2. 15	H17. 3. 20	樹勢回復
伊賀町のジンドイドジョウ	伊賀市	伊賀市教委	H17. 2. 28	H17. 3. 3	—	生態調査

③ 県指定有形文化財現状変更

件名	所有管理者	申請者	申請日	許可日	完了日	変更理由
入道家住宅	上野市	市長	H16. 8. 24	H16. 8. 25		保存整備

④ 県指定有形民俗文化財現状変更

件名	所有管理者	申請者	申請日	許可日	完了日	変更理由
八鬼山の町石及び石造三宝荒神立像、石造不動明王立像	尾鷲市	尾鷲市	H16. 9. 21	H16. 9. 22	H16. 9. 28	地点の移動

⑤ 県指定有形文化財き損届

件名	所有管理者	届出日	き損日	き損内容
賓日館	二見町	H16. 11. 11	H 16. 9. 29、 10. 20	台風 21・23 号による屋根瓦破損・雨漏り

⑥ 県指定有形民俗文化財き損届

件名	所有管理者	届出日	き損日	き損内容
八鬼山の町石及び石造三宝荒神立像、石造不動明王立像	尾鷲市	H16. 12. 22	H16. 11. 25 以前	町石裏面へのペンキによる落書き

⑦ 県指定有形文化財修理届

件名	所有管理者	届出日	修理期間	修理内容
旧諸戸家住宅	桑名市	H16. 6. 30	H16. 10 中旬～H16. 12 中旬	二番蔵黒漆喰剥落防止、番蔵棟・旧高須御殿ソアリ駆除ほか

⑧ 県指定史跡及び名勝等滅失・き損届

件名	所有管理者	届出日	き損日	き損内容
田丸城跡	玉城町	H16. 8. 12	H16. 8. 6	台風 10 号による遊歩道の崩落

⑨ 県指定史跡名勝文化財所有者管理責任者等変更届

件名	新所有者	変更日	届出日	受理日	変更理由
鍵屋の辻 藁虫庵 城之越遺跡	伊賀市	H16. 11. 1	H16. 11. 1	H16. 11. 1	市町村合併による

⑩ 県指定天然記念物文化財管理責任者等変更届

件名	新管理責任者	変更日	届出日	受理日	変更理由
西沢のノハナショウブ群落 伊賀町のジンドイドジョウ	伊賀市	H16. 11. 1	H16. 11. 1	H16. 11. 1	市町村合併による

⑪ 県指定有形文化財所有者変更届

件名	旧所有者	新所有者	変更日	届出日	受理日	変更理由
入交家住宅	上野市	伊賀市	H16.11.1	H16.11.1	H16.11.1	市町村合併による
旧小田小学校						
唐冠形兜						
奥知勇取集古伊賀・古信楽器物類一括						
御墓山窯跡出土宮殿形陶製品						
松尾芭蕉関係資料	上野市 芭蕉翁顕彰会	伊賀市 芭蕉翁顕彰会	H16.11.1	H16.11.1	H16.11.1	市町村合併による
松浦武二郎関係資料	三雲町	松阪市	H17.1.1	H17.1.13	H17.1.13	市町村合併による

⑫ 県指定有形民俗文化財所有者変更届

件名	旧所有者	新所有者	変更日	届出日	受理日	変更理由
参宮講看板	青山町	伊賀市	H16.11.1	H16.11.1	H16.11.1	市町村合併による

⑬ 県指定有形文化財所在場所変更届(永年)

件名	所有者	新所在場所	変更日	届出日	受理日	変更理由
銅造阿弥陀如来立像	光勝寺	鈴鹿市神戸2丁目20-8 龍光寺	H16.2.28	H16.2.18	H16.2.24	防火・盗難防止のため
木造荒神像	庫蔵寺	多気郡明和町竹川503 斎宮歴史博物館	H17.2.2	H17.1.31	H17.2.2	盗難等防止のために寄託

⑭ 県指定文化財所在場所の変更(元の所在場所に復する場合)

件名	所有管理者	変更場所	変更期間	変更理由
木造荒神像	庫蔵寺	大阪市立美術館	H16.4.7 ~	三重県ほか主催「祈りの道」へ出展に備え仮補修のため
宇流富志禰神社能狂言面のうち、1面	宇流富志禰神社	熊本現代美術館 大阪歴史博物館	H16.5.24 ~ H16.10.18	熊本現代美術館ほか主催「生人形と松本喜三郎」展に出展のため
木造薬師如来坐像	新巖寺	大阪市立美術館 名古屋市立博物館 世田谷美術館	H16.7.15 ~ H17.2.1	三重県ほか主催「祈りの道」に出展のため
木造薬師如来坐像	安楽寺			
絹本着色如来荒神曼荼羅図	徳楽寺			
近世初期上方子供絵本	射和町自治会	朝日町歴史博物館	H16.9.20 ~ H16.11.20	朝日町歴史博物館主催「江戸期子ども絵本の世界」に出展のため
紙本墨書大般若経	大樹寺	花園大学歴史博物館	H16.8.20 ~ H17.9.10	学術調査のため
木造誕生釈迦仏立像など4件	観音寺	四日市市立博物館	H16.10.28 ~ 12.31	収蔵庫改修のため一時変更
鯨船山車	南納屋町鯨船山車保存会	修理担当工務店倉庫	H16.12.5 ~ H17.6.15	収蔵庫改修のため一時変更
土偶(粥見井尻遺跡出土)	三重県埋文センター	松阪市文化財センター	H17.2.7 ~ H17.3.17	「新・松阪の埋蔵文化財」展へ出展のため

⑮ 県指定有形文化財公開届（県指定文化財公開承認施設による）

件名	所有者	届出者	届出日	公開期間	公開理由
本居宣長関係資料	松阪市	四日市市立博物館	H17. 1. 27	H16. 11. 16～ H17. 1. 10	「21世紀の本居宣長」へ出展のため
絹本着色松平定信像	桑名市				
紙本淡彩谷川士清肖像画像	津市				

⑯ 県指定文化財の掲載許可等

件名	所有者	申請者	申請日	許可日	使用目的
三重県水産図解 三重県水産図説	三重県	株) テレビマンエオン	H16. 4. 21	H16. 4. 23	テレビ朝日「食彩の王国」で放映
		名古屋市立博物館	H16. 4. 27	H16. 4. 30	特別展「名古屋の漁師町下之一色町」の図録・パネルへの掲載
		南勢町長	H16. 10. 28	H16. 11. 2	南勢町誌への掲載
		環境省中部地区自然保護事務所長	H16. 12. 22	H16. 12. 27	藤前干潟利用拠点施設での検索データベース・上映ソフト
		朝倉書店	H17. 1. 31	H17. 2. 8	郷土史大辞典への掲載

4 文化財の公開・普及

(1) 文化財関係の受賞

① 地域文化功労者文部科学大臣表彰

被表彰者 松山 鐵夫 氏

② 教育功労表彰

被表彰者 岡本 勝氏

(2) 文化財講習会（第22回）

- ・目的 文化財保護に携わっている三重県文化財保護指導委員、県及び市町村文化財保護関係委員、文化財所有者、管理者、文化財保護行政担当者等を対象として、文化財保護に関する基礎的知識と技能等の研修を行い、もって資質の向上を図るとともに、文化財の保護と活用の強化に資する。
- ・主催 三重県教育委員会  
三重県指定文化財等所有者連絡協議会
- ・期日 平成17年3月14日（月）
- ・場所 アスト津 アストホール
- ・参加者 124名
- ・内容 ①「天然記念物ネコギギをまもる意味」  
渡辺 勝敏氏（京都大学大学院 理学研究科 助教授）  
②「遺跡ってなに 誰のもの」  
岡村 道雄氏（(独)文化財研究所 奈良文化財研究所 平城宮跡発掘調査部長）

(3) 第46回近畿・東海・北陸ブロック民俗芸能大会

- ・趣旨 近畿・東海・北陸ブロック12府県内に伝承されている民俗芸能のうち、無形民俗文化財に指定されるなど、価値が高いものについて特別公開し、各保存団体の伝承活動の活性化をはかるとともに、伝統文化への関心を広く高める事を目的とする。

- ・主催 石川県教育委員会  
第46回近畿・東海・北陸ブロック民俗芸能大会実行委員会
- ・後援 文化庁・石川県
- ・協賛 財団法人 地域創造
- ・期日 平成16年8月22日(日) 11:00~16:10
- ・会場 石川県立音楽堂・邦楽ホール(石川県金沢市)
- ・参加者 1,040人
- ・出演団体 日置神社の神事踊(三重) / 山路王子神社の獅子舞(和歌山) / 旭町の棒の手(愛知) / 上神谷のこおどり(大阪) / 島万神社の太刀振・太鼓踊(京都) / 田原の祭文語り(奈良) / 淡路人形浄瑠璃(兵庫) / 三上のずいき祭り(滋賀) / 加茂神社の稚児舞(富山) / 舟寄踊(福井) / 中山太鼓(岐阜) / かんこ踊(石川)

(4) 紀伊半島民俗芸能祭

- ・主催 紀伊半島民俗芸能祭2004実行委員会  
三重県教育委員会・奈良県教育委員会・和歌山県教育委員会・大淀町教育委員会
- ・後援 文化庁・全国民俗芸能保存振興市町村連盟・奈良県・和歌山県・三重県・大淀町・大塔村教育委員会・吉野町教育委員会・那智勝浦町教育委員会・高野町教育委員会・津市教育委員会・大宮町教育委員会・大淀町文化連盟・近畿日本鉄道
- ・期日 平成16年11月7日(日) 13:00~17:00
- ・会場 大淀町立文化会館(あらかしホール)(奈良県吉野郡大淀町)
- ・出演団体 三重県 唐人踊(津市)・野原大神楽獅子舞(大宮町)  
奈良県 篠原踊り(大塔村)・吉野水分神社のお田植え神事(吉野町)・大淀町の民俗芸能(大淀町)  
和歌山県 那智の田楽(那智勝浦町)・高野山の南山進流声明(高野町)

(5) 文化財保護強調週間行事(平成16年11月1日~7日)

① 三重県事業

行事等名	行事等の概要	場所	期間	参加者数
文化財探訪	伊勢市朝熊山周辺の貴重な文化財を探訪	伊勢市朝熊山周辺	11/7	32人
特別展「百人一首の世界」	<小倉百人一首フェスティバル in みえ>の連携企画として、百人一首の成立に関する歴史的考察を加えた展覧会	斎宮歴史博物館	10/2~11/23	5,786人 ※内週間中 768人

② 市町村事業

市町村名	行事等名	行事等の概要	場所	期間	参加者数
松阪市	はにわ館秋季特別展「史跡宝塚古墳の発掘成果 - 調査で垣間見た重要遺跡」	史跡宝塚古墳の出土品の展示	松阪市 はにわ館	11/2・3	58人
嬉野町 (松阪市)	宇礼志乃の原相	弥生時代後期から古墳時代前期の出土資料の展示	嬉野町 (松阪市) 歴史資料館	H16.11.1~ H17.1.30	※内週間中 600人

伊勢市	市立郷土資料館企画展 「平成13・14・15年度 新収蔵品展1—書画・刷 り物の世界—」	過去3ヶ年における購入、寄贈に よる新収蔵品の展示	伊勢市立郷土 資料館	10/2～12/5	255人 ※内週間中 27人
-----	---	------------------------------	---------------	-----------	----------------------

(6) 文化財防火デー（平成17年1月26日）関連行事実施状況

県		市 町 村											小 計		
		市			町			村			実施 数	実 施 箇所数	実施 件数		
実施 箇所数	実 施 件 数	実施 市数	実 施 箇所数	実施 件数	実施 町数	実 施 箇所数	実施 件数	実施 村数	実 施 箇所数	実施 件数				実施 数	実 施 箇所数
1	4	13	117	225	18	49	82	2	4	4	33	170	311		

# 三重県内 国・県指定文化財等文化財数


平成 17 年 3 月 31 日現在

種 別		国	県	市町村	計
重要文化財 有形文化財	建造物	21	40	147	208
	絵画	19	32	90	141
	彫刻	63	100	278	441
	工芸品	17	49	185	251
	書跡・典籍・古文書	36	52	207	295
	考古資料	8	25	64	97
	歴史資料	3	2	27	32
無形文化財	工芸技術	1	1	4	6
	芸能	0	1	2	3
民俗文化財	無形民俗文化財	7	33	140	180
	有形民俗文化財	1	23	91	115
記念物	特別史跡	1	0	0	1
	特別天然記念物	2	0	0	2
	特別名勝及び天然記念物	1	0	0	1
	史跡	33	66	184	283
	史跡及び名勝	0	2	4	6
	史跡及び天然記念物	0	0	0	0
	名勝	4	8	6	18
	名勝及び史跡	2	0	0	2
	名勝及び天然記念物	0	1	1	2
	天然記念物（地域を定めず）	9	4	0	13
	天然記念物	18	79	133	230
天然記念物及び名勝	1	1	0	2	
小 計		247	519	1,563	2,329
伝統的建造物群保存地区（選定）		1	—	0	1
文化財の保存技術		0	0	0	0
記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財（選抜）		14	7	0	21
登録文化財		52	—	0	52
合 計		314	526	1,563	2,403

(国の古文書には国宝3、考古資料には国宝1を含む)

## 三重県の文化財保護 —平成 16 年度—

・発行／2006.3      ・編集／三重県教育委員会      ・印刷／有限会社三崎印刷

 古紙配合率は 100%、白色度 82%